

輝く“ふくろい”

まち・ひと・しごと創生総合戦略

# やらまいかREPORT2019

進捗状況報告書【平成30年度版】



【写真】 ふくろい版ホームステイトライアル

令和元年9月

袋井市

## 目次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 第1章 全体のまとめ                     | 2  |
| 第2章 人口動態                       | 3  |
| 第3章 総合戦略 [3つの挑戦／政策パッケージ]       |    |
| <b>挑戦1</b> 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦  | 5  |
| ◇ふくろいトピックス1～5                  | 11 |
| <b>挑戦2</b> ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦 | 13 |
| ◇ふくろいトピックス6～7                  | 18 |
| <b>挑戦3</b> 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦 | 19 |
| ◇ふくろいトピックス8～9                  | 24 |
| 第4章 戦略を支える取組 [第2次総合計画]         | 25 |
| 第5章 地方創生交付金等の活用状況              | 27 |
| ◇ふくろいトピックス10～12                | 32 |
| 第6章 参考資料 [やらまいか通信 (抜粋)]        | 36 |

# 第1章 全体のまとめ

## 1 人口動態の概要

- (1) 本市人口は88,221人（H31.4.1現在、前年対比283人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.79」（H29）となり、平成28年数値から0.15ポイント上昇した。平成30年は若年女性人口の減少が続き、出生数が前年比68人の減。また、子育て世代（30～40歳代前半）の市外転出超過に歯止めがかかっていないため、引き続き転出の抑制に向けた対策が必要。
- (3) 県人口推計（H31.4.1現在）では、県全体人口は3,641,988人で平成27年国勢調査（H27.10.1）から58,317人（1.6%）の減少。人口増加は、本市をはじめ3市2町のみ。

## 2 戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

### ■ 3つの挑戦の平成30年度トピックス [全13取組のうち、10取組が順調、3取組が着手]

#### 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

- (1) 電子黒板機能付きプロジェクターの整備など、ICT教育環境の充実を図った。
- (2) 産学官の連携によりエコパにて自動運転走行実証実験を実施した。
- (3) 登下校時の安心・安全の確保のため、GPS内蔵センサーによる見守りの実証実験を実施した。
- (4) ラグビーW杯に向けたシティプロモーションとして、市役所芝生広場にラグビーゴールポストの設置やJR愛野駅南口に巨大ラグビーボールを設置した。

#### 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

- (1) 夜間における観光消費の拡大を狙い、遠州三山と街なか（JR袋井駅周辺）のライトアップに連動させ、飲食店におけるスタンプラリーを実施した。
- (2) インバウンドやラグビーW杯に向けて、クラウンメロンのラッピングタクシーを活用した観光ツアーの創出や、厳しい茶況の中、お茶の需要拡大と「ふくろい茶」の認知度向上を図るため、袋井産茶葉100%のお土産商品開発を実施した。

#### 挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

- (1) 平成29年度に開設したふくろいTaskArUネットワーク事務局」を軌道に乗せ、「大人の社会科見学」や「しごと体験」等の実績を積み上げ、3Days Worker's Office 構想構想の実施に向けて事業の推進を図った。
- (2) 働く世代を中心に健康づくりへの取組を強力に推進するため、企業に向けた健康経営の啓発とともに、新たに開発した健康管理システム（アプリ）「#2961（ふくろいウオーク）」の普及を図った。

## 3 戦略の推進について

本戦略の推進にあたっては、総合計画の評価と併せ、施策の進捗や効果等について評価し、「輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議」を中心に幅広い分野の方々の意見を伺いながら、PDCAサイクルによる継続的な改善を図り、地方創生の実現に向けて常に戦略の進化を追求していく。

# 第2章 人口動態

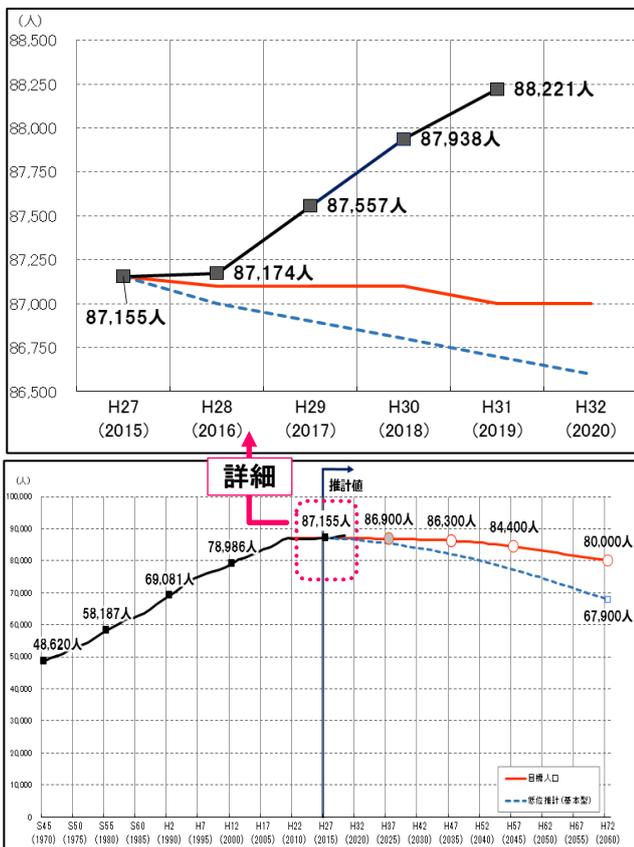
## 1 現状と課題

- (1) 本市人口は88,221人（H31. 4. 1 現在、前年対比283人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.79」（H29）となり、平成28年数値から0.15ポイント上昇した。一方で、平成30年の若年女性人口は減少が続き、出生数が前年比68人の減。また、子育て世代（30～40歳代前半）の市外転出超過に歯止めがかかっていないため、引き続き転出の抑制に向けた対策が必要。
- (3) 県人口推計（H31. 4. 1 現在）では、県全体人口は3,641,988人で平成27年国勢調査（H27.10.1）から58,317人（1.6%）の減少。人口増加は、本市をはじめ3市2町のみ。

## 2 人口推計【3区分別人口】（平成31年4月1日現在）

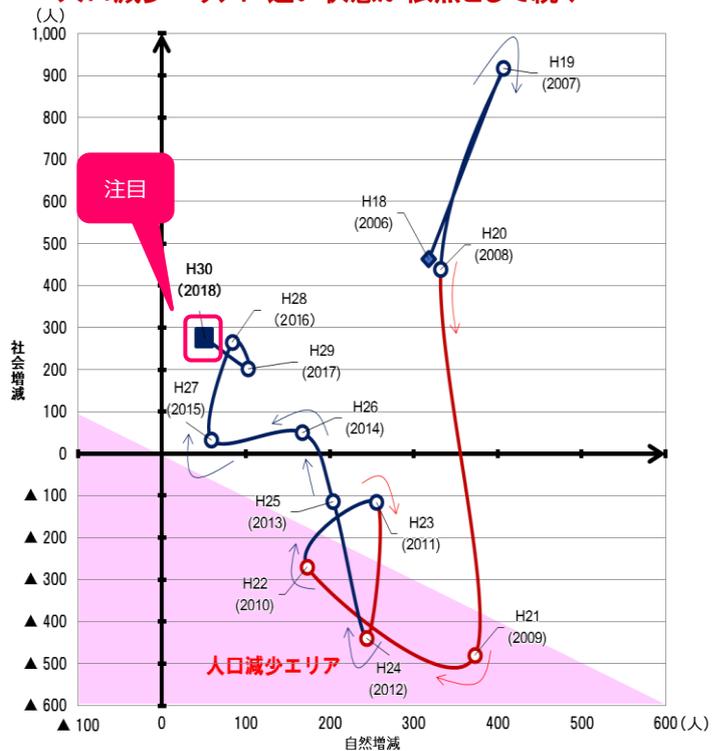
図表1 人口推移と3区分別人口の推移

人口は増加(対前年比+283人)しているが…  
 少子高齢化は進行(年少▲0.2%・老年+0.5%)



図表2 自然増減と社会増減

社会増減が増加(対前年比+73人)するも、  
 自然増減が減少(対前年比▲52人)、  
 人口減少エリアに近い状態が依然として続く



図表3 自然増減推移

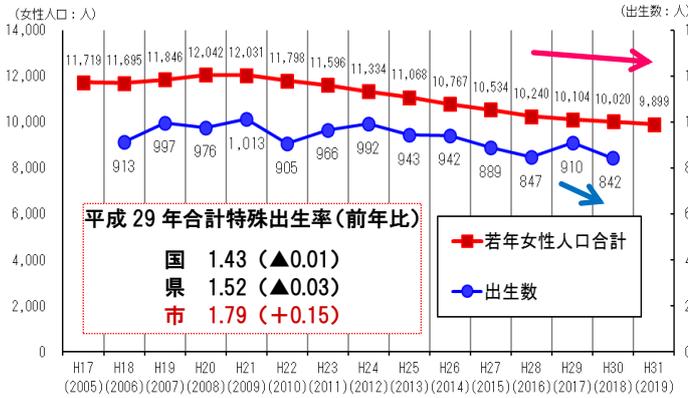
出生数は再び800人台に(対前年比▲68人)



### 3 出生に関する状況（出生数の推移）

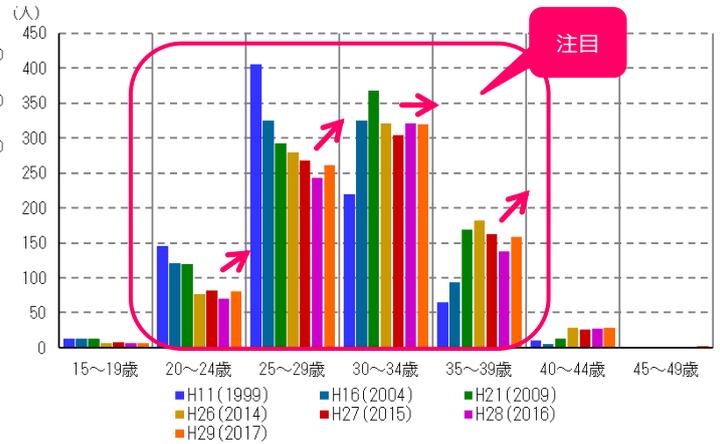
図表4 若年女性人口と出生数推移

平成29年の合計特殊出生率は0.15%増加したものの、若年女性人口の減少が続く(H30→H31▲121人)



図表5 母親の5歳階級別出生数の推移

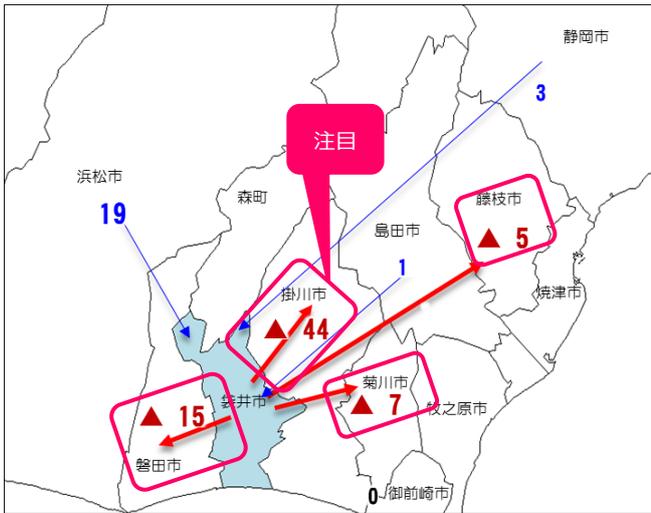
30～34歳の出産が最多、晩産傾向は依然強い



### 4 子育て世代の動向（5歳階級別男女増減数）

図表6 子育て世帯（0～9歳）の近隣市町への転出入状況（H29）

子育て世帯の近隣市への転出超過が続く



図表7 5歳階級別増減人数

子育て世帯（5～9歳）の転出が依然続く

| 年齢     | H26   | H31   | 増減   |
|--------|-------|-------|------|
| 年少     |       |       |      |
| 0～4歳   | 4,654 | 4,153 | -    |
| 5～9歳   | 4,516 | 4,494 | ▲160 |
| 10～14歳 | 4,373 | 4,514 | ▲2   |
| 生産年齢   |       |       |      |
| 15～19歳 | 4,076 | 4,374 | 1    |
| 20～24歳 | 4,269 | 4,368 | 292  |
| 25～29歳 | 5,491 | 4,849 | 580  |
| 30～34歳 | 6,260 | 5,748 | 257  |
| 35～39歳 | 6,666 | 6,187 | ▲73  |
| 40～44歳 | 6,648 | 6,509 | ▲157 |
| 45～49歳 | 5,252 | 6,559 | ▲89  |
| 50～54歳 | 4,961 | 5,286 | 34   |
| 55～59歳 | 5,474 | 4,945 | ▲16  |
| 60～64歳 | 6,242 | 5,440 | ▲34  |

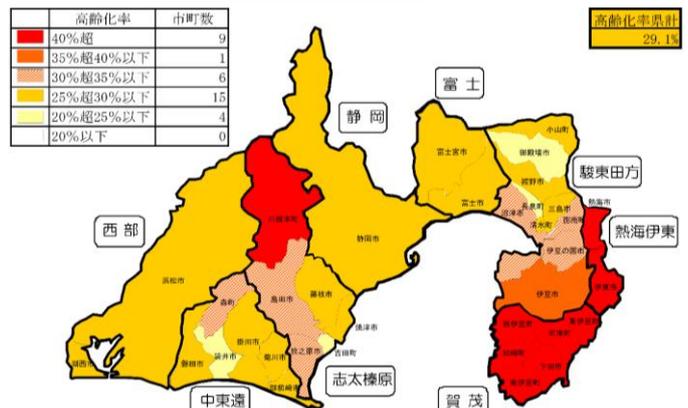
### 5 他都市との比較（袋井市のポジショニング）

図表8 県人口推計（H31.4）とH27国勢調査（H27.10）比較 県内30市町で人口減少、増加は3市2町のみ

| 増加人数（人） |         | 増加率（%） |       |
|---------|---------|--------|-------|
| 1 袋井市   | 1,026   | 1 長泉町  | 1.4   |
| 2 長泉町   | 600     | 2 袋井市  | 1.2   |
| 3 菊川市   | 555     | 3 菊川市  | 1.2   |
| 4 掛川市   | 473     | 4 掛川市  | 0.4   |
| 5 清水町   | 10      | 5 清水町  | 0.0   |
| 減少人数（人） |         | 減少率（%） |       |
| 1 静岡市   | -12,795 | 1 南伊豆町 | -12.9 |
| 2 浜松市   | -6,337  | 2 川根本町 | -10.6 |
| 3 沼津市   | -6,026  | 3 松崎町  | -8.5  |
| 4 富士市   | -3,371  | 4 下田市  | -7.7  |
| 5 伊東市   | -2,638  | 5 東伊豆町 | -6.9  |

図表9 県内高齢化率調査（H31.4.1現在）

県の高齢化率は過去最高の29.1%、本市は23.6%（23市で一番「若いまち」）



### 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

#### 取組1 ICT教育環境の充実

子どもたちの自ら学ぶ力を養い、教職員が子どもとふれあう時間を確保することで、学力の向上に資すると共に、心ゆたかで個性と創造性に富み、21世紀を生き抜く力を持った子どもを育成するため、ICT教育環境の充実を図る。

##### ■わかりやすい授業の実践

授業におけるユニバーサルデザインを推進し、児童生徒の学習意欲と「確かな学力」を向上させる。

##### ■校務の合理化・効率化の推進

児童生徒との触れあいや教材研究の充実を図るため、多様化している校務の合理化と効率化を推進する。



[写真] ICT機器を活用した授業

#### 取組2 未来を拓く「遠州商人」の育成

将来の地域産業や経済を担う人材を育成するため、より実践的な職業教育を行う新たな高等教育のあり方として、中学卒業後の5年一貫教育を推奨し、タフでグローバルな感覚を持った起業人の育成など郷土を愛する遠州商人を創出させる。

##### ■袋井商業高等学校5年制化の推進

「袋井商業高等学校の5年制化」を提唱し、全国で初となる公立商業高校の高等専門学校の新設を含め、その実現に向けた働きかけを行う。

#### 取組3 静岡理科大学との連携強化

地域や企業との連携を強化し、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。また、地域との交流や地域課題への取組を通じて、地域への愛着を育む。

##### ■新しい事業の創出支援

静岡理科大学と市内企業との交流を深め、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

##### ■地域課題解決型“地（知）の拠点事業”の推進

大学を地域における知的拠点と捉え、地域の課題解決に向けた連携をさらに強化し、学内の知的資源をフル活用する。



[写真] 産学官交流会

## 取組4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

防災・減災対策の充実・強化と地域資源を活用した新しい産業の創出と集積に加え、袋井らしいライフスタイル実現の場の創出を目指し、内陸フロンティアを拓く取組を進化させる。

### ■袋井らしいライフスタイルの創出

継続的に趣味が実現できる場の創出に向け、公園など公共施設の活用方法を見直し、豊かな自然や農業資源の活用を図る。また、地域への愛着と人の絆など、定住の促進を図る。

### ■創業希望者の支援

地域の創業希望者を支援することで創業を促進し、地域経済の活性化及び雇用の確保を目指す。

### ■魅力的な工業用地の確保

将来にわたる地域雇用の場を確保するため、優良企業の立地を促す工業用地を創出する。



【写真】造成中の豊沢工業団地

## 取組5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

若者が結婚を機に本市に新居を構え、出産子育ての時期を、安心して楽しく過ごすことができるよう家庭、地域、企業、行政がそれぞれの役割を担いながら連携・協力し、妊娠、出産、子育てまでの段階に応じた多様な支援を行う。

### ■アクティブ育児応援プログラム推進事業

幼少期の多様な動きの習得や親子の触れ合い機会創出など、アクティブな育児環境を実現させる。

### ■子ども・子育て支援エリアの充実

子ども・子育て支援の一体的なエリアとして施設を集約し、連携強化と機能の充実を図る。

### ■子育て世代包括支援センターの開設

母子保健の総合相談窓口を開設し、妊娠期～子育て期の支援体制を強化する。

## 取組6 シティプロモーションの充実・強化

“誇りと愛着のもてるまち”を目指し、自らがシティプロモーションの担い手となって袋井の魅力を磨き、育て、発信できる仕組みを設けるとともに、全国・世界を視野に、本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげる活動を展開する。

### ■「魅力ある袋井」を発信できる人材の育成

本市の潜在性（ポテンシャル）を引き出し、自らが語り部となって情報発信できる人材を育成する。また、多様なまちの魅力を発信し共感し合う市民の輪を広げ、新たな地域文化を創造する。



【写真】ふくろい版ホームステイトライアル

### ■全国・世界に向けた情報発信力の強化

人口の首都圏一極集中を打開するため、移住希望者を視野に情報発信する。  
また、本市周辺の大学や専門学校などに留学している外国人の協力のもと、本市の存在を世界に向けてアピールし、交流人口の増加を促す。

## 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

### 現状と課題

- (1) 「ICT教育環境の充実」については、デジタル教材を駆使したわかりやすい授業の実践を推進するため、中学校2校（袋井南中・袋井中）へ「電子黒板機能付きプロジェクター」等を導入し、市内全小中学校の全クラスに環境整備が完了した。  
「自ら考える力」を効果的に育むため、協働学習の充実や家庭学習の質を高めるICTツールを導入し、経済産業省モデル事業「未来の教室実証事業」を実施した。
- (2) 「未来を拓く『遠州商人』の育成」については、「袋井商業高等学校5年制化」の推進を図るため、平成28年度に県知事及び県教育長に対し「要望書」の提出を行った。それを受け、県教育委員会が平成29年7月19日に「商業教育高度化対応研究委員会」を設置、今年度は2回の会議において、商業教育の高度化に向けた方策を検討。引き続き、同研究委員会での議論の動向などを注視するとともに、早期実現に向け県と連携し、対応していく。
- (3) 「静岡理工科大学との連携強化」については、ECOPAドリームプロジェクト（自動運転走行実証）のほか、袋井市産学官連携推進協議会が市内企業と静岡理工科大学の交流や連携を目的に「共同研究・開発促進セミナー」等を開催した。  
また、「大学との包括連携に関する協定書」（平成25年6月締結）に基づいた取組として、「地域学講座」や「お理工塾」を開催した。この他、小笠山総合運動公園（エコパ）で毎年9月に開催する「全日本学生フォーミュラ大会」の開催支援を行った。今後も、地域産業の活性化など、様々な分野で実践型の連携を深めていく。
- (4) 「内陸フロンティアを拓く取組の進化」については、袋井市静岡モデル防潮堤整備事業と連携して整備を進めてきた「豊沢工業団地」にトッパン・フォームズ東海㈱とトッパン・フォームズ・サービス㈱の進出が決定し、令和元年度後半の竣工に向け工場建設に着手した。小笠山山麓開発事業については、平成31年3月に1社から進出申出書の提出を受け、開発に関する協定締結に向け協議を推進した。また、新たな企業用地創出に向け、土橋地区において開発可能性調査を実施し、令和元年度は詳細調査に着手する。平成31年3月に大和ハウス工業㈱から中部工場を同地区に移転したい旨の進出申出書が提出された。  
さらに、袋井市静岡モデル防潮堤整備事業により整備された防潮堤の利活用について、「袋井幸浦の丘プロジェクト」として、地元ワークショップの運営支援を行った。
- (5) 「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」については、I o Tを活用した地域見守り体制の構築に向けて、小学1・2年生を対象に、GPS内蔵センサーによる見守りの実証実験を実施した。子ども・子育て支援エリア「育ちの森」や妊産婦・子育て世代のワンストップ相談窓口「子育て世代包括支援センター」による相談・支援、巡回型子育て支援センター運営事業の実施、様々な子育て情報を入手できる「子育て応援アプリ（フッピーのぼっけ）」による情報発信等により、きめ細やかな子育て支援を行った。
- (6) 「シティプロモーションの充実・強化」については、「まちの国際化」実現に向け、国際交流に参加する市民を「ハローフレンド」として募集・登録（平成30年度末登録者数698世帯）するとともに、「ふくろい版ホームステイ」トライアルや交流イベントを開催した。  
特に2019年度は、ラグビーW杯が開催されることから、機運醸成のため、「アイルランド・フェスティバルinふくろい」の開催や、市役所芝生広場へのラグビーゴールポストの設置やJR愛野駅南口への巨大ラグビーボールの設置を行い、ラグビーW杯を契機としたシティプロモーションを推進した。  
また、シティプロモーションの充実・強化に向けて、Wi-Fi環境の整備やJR愛野駅南北自由通路にデジタルサイネージを設置するなど情報発信の基盤強化を図った。

## 2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

| 取組名                         | 進捗状況 |    |    |    |    | 進捗状況等の説明  | 担当課   |
|-----------------------------|------|----|----|----|----|---|---|
|                             | 未着手  | 着手 | 順調 | 難航 | 達成 |   |   |
| 1-1<br>ICT教育環境の充実           |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○電子黒板機能付きプロジェクター及びデジタル教材を袋井中・袋井南中へ計45台配備☆</li> <li>○ICT機器や学習支援ソフトを活用した新しい学習モデルの実証実験を今井小学校で実施☆</li> <li>○小学生向けプログラミング教室開催(8/4、参加者市内小学生と保護者25組58人)☆</li> </ul>   | 教育企画課<br>学校教育課<br>ICT街づくり課                          |
| 1-2<br>未来を拓く「遠州商人」の育成       |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○H27年度末に県知事及び県教育長に「要望書」提出、県教育委員会が研究会(平成30年度2回開催)で具体的な対応を検討中</li> </ul>   | 市長公室  |
| 1-3<br>静岡理工科大学との連携強化        |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ECOPADドリームプロジェクト(自動運転走行実証)☆</li> <li>○「地域学講座」開催(全4日間、41人参加)</li> <li>○「袋井市産学官交流会」開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究・開発促進セミナー(11/5 38人)</li> <li>・産学官交流会(2/8 65人)</li> </ul> </li> <li>○全日本学生フォーミュラ大会(9/4~@エコパ)開催の支援(延べ17,000人が来場)</li> <li>○公民館DEお理工塾(コミュニティセンター3箇所で開催)○Rikejo Caféとろうきん住宅フェスティバルで定住促進と一体的にPR</li> </ul>   | 企画政策課<br>産業政策課<br>生涯学習課<br>市長公室                     |
| 1-4<br>内陸フロンティアを拓く取組の進化     |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊沢工業団地にトッパン・フォームズ東海㈱とトッパン・フォームズ・サービス㈱の進出が決定、(仮称)小笠山工業団地に1社から進出の申し出、土橋地区で開発可能性調査を実施</li> <li>○県よろず支援拠点西部地区袋井サテライトオフィスによるきめ細やかな支援</li> <li>○産業経済懇話会の開催(3回 4/16、8/6、11/19) 提言書を提出(2/4) ☆</li> <li>○創業支援事業の実施☆ <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業相談会(月1回/14人相談)</li> <li>・創業セミナー(2回、19人参加)</li> <li>・創業塾(全6回、7人参加)</li> </ul> </li> <li>○袋井市静岡モデル防潮堤整備事業利活用基本計画に基づき、ワークショップの運営支援(4回 約230人)</li> </ul> | 産業政策課<br>建設課<br>農政課<br>市長公室                         |
| 1-5<br>安心して子どもを産み育てられる環境づくり |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○IoTを活用した地域見守り体制の構築</li> <li>○人工知能(AI)を活用した実証事業</li> <li>○育ちの森、子育て世代包括支援センター・巡回型子育て支援センターによる相談・支援</li> <li>○子育て応援アプリ「フッピーのぼっけ」の推進</li> </ul>   | ICT街づくり課<br>すこやか子ども課<br>育ちの森<br>健康づくり課<br>地域包括ケア推進課 |
| 1-6<br>シティプロモーションの充実・強化     |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふくろい版ホームステイ推進(ホームステイリアル3回実施)、「ハローフレンド」H30年度末登録者数698世帯☆</li> <li>○アイルランド・フェスティバルinふくろい(3/10 約800人)☆</li> <li>○市役所芝生広場へのラグビーゴールポスト、愛野駅南口に巨大ラグビーボールの設置☆</li> <li>○愛野駅南北自由通路にデジタルサイネージを設置☆</li> <li>○海外メディア招聘ツアー実施(8つの国・地域から10人のメディアが参加)☆</li> <li>○愛野駅前南北広場にWi-Fiアクセスポイントを設置(2箇所)☆</li> <li>○プロジェクトマップの実施☆<br/>愛野駅南口(3/15~3/17)</li> </ul>   | 企画政策課<br>スポーツ政策課<br>産業政策課<br>ICT街づくり課               |

### 3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😊 概ね順調 😊 低調 😞 ]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 1-1 ICT教育環境の充実

| 指標名  | 単位 | 基準値<br>(基準年)  | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|--|----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|----|
| 授業がよく分かると答える児童の割合<br>[↑]【出典：学校教育課】             | %  | —<br>(H26)    | 88.0      | 91.0      | 89.1      | 90.0      | 90.0         | 😊  |
| 全国規模の学力調査で全国平均を上回る<br>科目の割合(小6)[↑]【出典：第2次総合計画】 | %  | 50.0<br>(H26) | 20.0      | 100.0     | 0         | 0         | 100.0        | 😞  |

#### 1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成

| 指標名                           | 単位 | 基準値<br>(基準年) | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度      | H30<br>年度      | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|-------------------------------|----|--------------|-----------|-----------|----------------|----------------|--------------|----|
| 袋井商業高等学校の5年制化の実現<br>【出典：市長公室】 | —  | 3年制<br>(H26) | 県知事<br>要望 | 県検討       | 県検討<br>(研究会開催) | 県検討<br>(研究会開催) | 実現           | 😊  |

#### 1-3 静岡理工科大学との連携強化

| 指標名   | 単位 | 基準値<br>(基準年)     | H27<br>年度  | H28<br>年度       | H29<br>年度        | H30<br>年度        | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|---|----|------------------|------------|-----------------|------------------|------------------|--------------|----|
| 静岡理工科大学と市内企業の<br>産学交流研究数(5年間累計)<br>[↑]【出典：第2次総合計画／工業振興計画】 | 件  | 15<br>(H22~26累計) | 4<br>(H27) | 7<br>(H27~28累計) | 11<br>(H27~29累計) | 14<br>(H27~30累計) | 20           | 😊  |
| 若者など市民を対象にした学習機会<br>[↑]【出典：生涯学習課】                         | 回  | 30<br>(H26)      | 38         | 36              | 43               | 37               | 50           | 😊  |
| 大学生との協働活動の実施件数<br>(5年間累計)<br>[↑]【出典：企画政策課】                | 回  | 1<br>(H26)       | 2<br>(H27) | 4<br>(H27~28累計) | 8<br>(H27~29累計)  | 11<br>(H27~30累計) | 10           | 😊  |

#### 1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

| 指標名  | 単位    | 基準値<br>(基準年)     | H27<br>年度            | H28<br>年度            | H29<br>年度            | H30<br>年度             | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|--|-------|------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|--------------|----|
| 利用を特化した公園数<br>[↑]【出典：都市整備課】                    | 箇所    | 0<br>(H26)       | 特化内容<br>検討           | 特化内容<br>検討           | 試行<br>(1箇所)          | 試行<br>(3箇所)           | 3            | 😊  |
| 公園を利用した展示、販売等のイベント数<br>[↑]【出典：都市整備課】           | 回     | 1<br>(H26)       | 4                    | 3                    | 2                    | 4                     | 6            | 😊  |
| 体験ツアー等参加者数<br>[↑]【出典：スポーツ政策課】                  | 人     | —<br>(H26)       | 3,300                | 3,400                | 3,200                | 3,500                 | 10,000       | 😞  |
| 農業体験ツアー開催数<br>[↑]【出典：農政課】                      | 回     | —<br>(H26)       | 2                    | 3                    | 3                    | 3                     | 5            | 😊  |
| 創業件数<br>(卸・小売業・サービス業／5年間累計)<br>[↑]【出典：第2次総合計画】 | 件     | 94<br>(H22~26累計) | 17<br>(H27)          | 24<br>(H27~28累計)     | 36<br>(H27~29累計)     | 44<br>(H27~30累計)      | 130          | 😞  |
| 新たな工業用地の創出面積(5年間累計)<br>[↑]【出典：産業政策課／参考：工業振興計画】 | ヘクタール | —<br>(H26)       | 豊沢開発<br>造成中<br>(8ha) | 豊沢開発<br>造成中<br>(8ha) | 豊沢開発<br>造成中<br>(8ha) | 豊沢開発<br>造成完了<br>(8ha) | 14           | 😊  |

### 1-5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

| 指標名  | 単位 | 基準値<br>(基準年)  | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|--|----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|----|
| 運動教室への参加率(企業等の協力度)<br>[↑]【出典:スポーツ政策課】                          | %  | —<br>(H26)    | 83.0      | 50.0      | 48.3      | 25.5      | 90.0         | ☹️ |
| 子育てが楽しいと感じる人の割合<br>[↑]【出典:スポーツ政策課】                             | %  | —<br>(H26)    | 100.0     | H29<br>調査 | 100.0     | 100.0     | 80.0         | 😊  |
| 子育てに関する相談(0～18歳)が切れ目<br>なく受けることができていると思う保護者の率<br>[↑]【出典:育ちの森】  | %  | —<br>(H26)    | 92.3      | 100.0     | 100.0     | 98.1      | 90.0         | 😊  |
| 「育ちの森」(相談支援施設)を利用すること<br>で子どもへの理解が深まった保護者の率<br>[↑]【出典:育ちの森】    | %  | —<br>(H26)    | 88.0      | 94.0      | 94.2      | 95.4      | 80.0         | 😊  |
| 生後2カ月以内の赤ちゃん訪問の実施率<br>[↑]【出典:健康づくり計画】                          | %  | 33.2<br>(H26) | 64.6      | 75.5      | 64.1      | 85.5      | 50.0         | 😊  |
| 不安や心配を抱える妊産婦(特定妊産婦・<br>ハイリスク妊産婦を除く)に支援を行った割合<br>[↑]【出典:健康づくり課】 | %  | 18.5<br>(H26) | 23.8      | 86.3      | 84.6      | 84.0      | 100          | 😊  |

### 1-6 シティプロモーションの充実・強化

| 指標名   | 単位 | 基準値<br>(基準年) | H27<br>年度 | H28<br>年度            | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31)          | 評価 |
|---|----|--------------|-----------|----------------------|-----------|-----------|-----------------------|----|
| 市民情報交流サイト「いいね」の数<br>[↑]【出典:企画政策課】                     | 件  | —<br>(H26)   | 8,830     | 12,557               | 24,082    | 35,459    | (新)20,000<br>(旧)5,000 | 😊  |
| 市民映画観客動員数<br>[↑]【出典:生涯学習課】                            | 人  | —<br>(H26)   | 制作<br>準備  | 完成<br>(H29.4～<br>上映) | 1,258     | 700       | 10,000                | ☹️ |
| 全国地域ブランド調査における<br>魅力度の順位<br>[↑]【出典:企画政策課(地域ブランド調査結果)】 | 位  | 787<br>(H26) | 757       | 574                  | 712       | 600       | 300                   | ☹️ |

## 4 創生会議等における主な意見 (■…首都圏部会、●…ふくろい部会)

- Society5.0の社会で生き抜くチカラは、「自ら問いを立てて学びながら解決する(解決しながら学ぶ)」こと。主体性を伸ばす「探究的な学び」が必要になる。今後、子どもと学校の先生だけの関係ではなく、地域社会とも情報を連携しながら、新たな学びの場(学童保育の発展形)のエコシステムを構築することで、全国的な先進モデルケースとなる可能性がある。
- 教育環境が魅力的なものになれば、子育て世代をはじめ、人や企業を惹きつける地域となると思う。
- 子育て世帯の転出超過は大きな課題。女性が働きながら子どもを産み育ていけるまちへ、より一層の取組が必要。
- AI等のIT技術や各種データなどに基づく需給予測などを意思決定に積極的に活用していくことが重要。生産性の向上には、実際の業務とIT技術の双方が理解できる人材育成と活用が必須。官民データの相互利用も大切な視点。
- 袋井は子育てしやすいと感じているが、「働き続けるか」「子育てに専念するか」は悩む人が多いと思う。何に障壁を感じるかを調べることで、より良いまちを作っていけるのではないかと。
- 静岡理科大学は、地域に根差した大学として建築学部に加え、新たな学部の設置等に向け、学校改革に励んでいる。ここで育った人材が地域で活躍できる環境づくりも大事。
- 産学官連携やベンチャーの立ち上げなど、イノベーションを起こす多様な働き方で地域全体の生産性を上げることが必要。
- 世界規模のアーティストがエコパを利用している。この集客機会を市のPRや地域活力の向上に活かしていくべき。

### ①企業連携の推進

地方創生の実現に向け、固有のノウハウやネットワークを持つ企業と積極的に連携を図ることで、地域課題の解決や市の施策効果の拡大などに加え、企業にとっても新たなビジネスチャンスの開拓に繋がるwin-winな関係づくりを推進している。



◆パナソニック株式会社静岡工場との連携、地域活性化の取り組みにより、「Made in ふくろい」の文字や同工場製の洗濯機柄でラッピングした路線バスを本市のほか、磐田市、浜松市、静岡市で運行中。

◆株式会社ジオコードとの地方創生の推進に係る連携協定締結【平成30年5月29日締結】

同社は、市内でサテライトオフィスを開設。地域課題の解決に向けて積極的な取組連携を図る。

### ②シティプロモーションの充実・強化

全国・世界に向けた情報発信力の強化に向けて、愛野駅南北自由通路にデジタルサイネージを設置し、情報発信の基盤強化を図った。また、JR愛野駅前南北広場に公衆電話ボックスを活用したWi-Fiアクセスポイントを2箇所整備するとともに、データ活用を図るため、アクセスログの解析ができるWi-Fiポータルサイトを開設した。



【写真左】 JR愛野駅に設置したデジタルサイネージ 【写真右】 Wi-Fiポータルサイト

### ③エコパドリームプロジェクト（自動運転走行実証事業）

ヒトと技術の出会いにより既存産業やまち（地域）のイノベーションの促進を図るため、小笠山総合運動公園（エコパ）を中心とする愛野エリアを近未来技術の実証フィールドに位置づけ、県、市、大学、事業者の産学官連携により、自動運転走行の実証実験を行ったほか、近未来技術体験セミナーを開催した。



【写真左】 エコパでの自動運転走行実証事業の様子

#### ④ふくろいまるごとインターナショナル

ラグビーW杯が、本市内に立地する小笠山総合運動公園「エコパスタジアム」で開催されることで、市民が世界に目を向け、関心を高める機会となる。これらをきっかけとして、異文化や外国語に触れ、親しむ機会を増やすことで、「まちの国際化」を推進し、国際感覚や相互理解力、チャレンジ精神などを持った「ひとづくり」と「地域づくり」を同時に展開させる。



【写真左】ふくろい版ホームステイトライアル 【写真右】イングリッシュデイキャンプ

#### ⑤未来の教育実証研究事業

国では、世界各国で進む「創造性」「課題解決力」「科学技術」などを重視した教育改革や「EdTech = Education (教育) x Technology (技術)」の実装を踏まえ、我が国の産業や地方創生の未来を切り拓く人材(チェンジメイカー)育成を進めるため、「『未来の教室』とEdTech研究会」を設置。

本市においても、経済産業省「未来の教室実証事業」を活用し、ICT機器等の活用による新たな学習モデルの実証研究を行っている。



【写真】経済産業省「『未来の教室』とEdTech研究会」資料

#### ■目指す「未来の教室」(=未来の学び方)の姿

##### ▽授業改善

###### これまでの授業

子供たちが何の問題もなく、問題が解けるようにするための指導的な教育。

教師主導の画一的授業

##### ▽家庭学習

###### これまでの家庭学習

すべての子供たちに共通した宿題を与え、基礎学力の定着を図る反復学習が基本。

均一理解度を前提とした固定教材

###### これからの授業

子供たちが自ら如何に課題を見つけ、試行錯誤しながら課題が解決できるようなするための学びを重視した教育。

子供主体のアクティブで多様な授業

###### これからの家庭学習

子供一人ひとりが、自らの能力に応じて意欲的に学ぶことができる個別学習の実践が基本。

独りでも学べるレクチャー機能+個に応じたアダプティブ教材

## 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

### 取組1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

本市を代表する観光拠点である遠州三山を中心に、情報発信を強化し、国内外からの観光交流客の誘客と滞在時間を増やすプランの創造やおもてなし環境の整備を推進する。

#### ■新しい賑わいの場づくり

「ここならではの」のお土産づくりやメニューの充実、統一感のある門前（雰囲気）づくりのほか、四季折々のイベントを開催するなど、年間を通じた賑わいの場づくりを推進する。



【写真左中】夜の賑わいづくり遠州三山のライトアップ

【写真右】夜の賑わいづくり街なかのライトアップ

#### ■非日常的な体験や歴史に触れるプランの創生

遠州の古刹めぐり「遠州三山自分巡礼の旅」を基に、歴史的建造物や仏像などを巡るプランのほか、修行体験や精進料理など、地域資源を活用した非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造により誘客の促進を図る。

【写真右】遠州三山風鈴まつり



#### ■国内外に向けた情報発信の強化

2019年度に小笠山総合運動公園（エコパ）を会場の一つとして開催されるラグビーW杯をコンテンツとしてSNSの活用や首都圏・中京圏・関西圏の旅行会社等へのセールスなど、本市を知り、実際に訪れてもらうまでの戦略的なアプローチを視野に入れた情報発信を行う。



【写真】ラグビーパスリレー本市PR

## 取組 2 農業の未来を創るプロジェクト

基盤整備や作業の効率化による生産性の向上のほか、「強み」のある産地形成に向けた作付け転換、異業種連携や農業法人を含む担い手の育成など、新しい農業を拓く取組を推進する。

### ■畑地管理の適正化と農地の有効利用

茶畑の作業効率と生産性の向上に向けた基盤整備と集積を図るとともに、茶の転換作物などの研究を推進し、「強み」のある産地形成を図り、農業者所得の向上と耕作放棄地の解消を目指す。

### ■水田のフル活用と地域に親しまれる米づくり

人・農地プランや農地中間管理機構を活用し、意欲のある担い手への農地集積と水田の高機能化により、生産性の向上と高度利用を図る。また、「(仮称)水田市民農園」を開設し、市民生活に潤いとやすらぎを与えるとともに、米の地産地消の推進を図る。

### ■クラウンメロンの更なる飛躍

熟練生産者の生産技術を検証し、ICT等を活用した業務の標準化(マニュアル化)をすることで、技術の継承と新規就農を促すとともに、安定した高品質メロンの生産と出荷増を図る。

## 取組 3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

トレーサビリティをはじめとした安全、安心な体制の確立と産地表示などと併せた知名度の向上などの取組により、国内外のさらなる販路拡大を図る。積極的な販売促進活動を通じた消費者ニーズの獲得により、クラウンメロン等のブランドカのさらなる強化を図る。

### ■農産物の外的評価の推進

品質や安全性などの農産物の付加価値を高めるため、産地表示、機能性表示、GAP認証などの外的評価制度を活用し、消費者や取扱業者から選ばれる商品づくりを推進する。

### ■農産物の海外輸出の拡大

東南アジアや中東など、新たな市場の開拓に向けた販売促進活動を展開するほか、EU諸国や米国等への輸出を含め、競争力のある商品づくりと確かな商流の確保に努める。

### ■クラウンメロンのブランドカの強化

消費者ニーズの更なる獲得に向け、加工品の開発やターゲットを絞った販促活動を実施し、ブランドカの強化と魅力ある商品づくりを促進する。

また、静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所と浜松支所との合併により、生産地としての基盤強化と供給量の確保を図る。



[写真] 天皇誕生日レセプション@ドバイ  
クラウンメロンPR



[写真] 森永製菓 ハイチュウ「クラウンメロン」味

## 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

### 1 現状と課題

- (1) 「遠州三山『寺のある暮らし』推進プロジェクト」については、新たな賑わいの場づくりとして、夜間の観光消費の拡大に着眼し、遠州三山と街なか（JR袋井駅周辺）との連動による夜の賑わいを創出した。具体的には、遠州三山や街なかのライトアップ、飲食店のスタンプラリーを実施した。  
今後も夜の賑わいづくりに向けた具体的な内容を検討するとともに、新たな人を呼び込み、地域内で消費に繋がる事業を積極的に実施していく。
- (2) 国内外に向けた情報発信の強化を目的として、2019年度に小笠山総合運動公園（エコパ）を会場の一つとして開催されるラグビーW杯に向けて、岩手県釜石市と長野県上田市との開催地間交流事業により、観光PRを行った。また、インバウンドの開拓として、ベトナムの旅行会社へのセールスや旅行博へ出展し、本市をPRした。今後は、まちの国際化を進める事業とも連携しながら、外国人観光客受入体制の強化を図るとともに、本市内にある四季折々の観光資源の発掘や活用により、非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造や年間を通じた賑わいの創出に取り組んでいく。
- (3) 「農業の未来を創るプロジェクト」については、学校給食から出る野菜余りを堆肥化し、その堆肥を活用して栽培した農産物を、学校給食に納入するという「循環型社会」を市内の事業所と連携して構築した。  
さらに、新たなビジネスの創出を目的として「ふくろい農商工交流会」を開催した。今後も内容を充実させ、開催を継続していく。
- (4) 「世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立」については、ラグビーW杯開催をチャンスと据え、特産物のメロンをフックに、大手菓子メーカーとの連携による商品開発のほか、市内タクシー会社と連携した市内観光周遊ツアーなどを構築した。  
また外務省（在外公館）の協力を仰ぎ、アラブ首長国連邦（UAE）の首都アブダビにおいて、現地日本大使館主催の天皇誕生日レセプションでクラウンメロンのPRを実施したほか、首相外遊時の農産物PRイベントにも活用いただいた。
- (5) 国内での売り上げが低迷する茶について、ラグビーW杯における訪日外国人客等をターゲットに一番茶の急須茶以外の新たな活用方法としてティーバッグ方式によるアラカルトお土産商品を開発した。また、新規マーケットの開拓として、インバウンド観光客層が多い、都内の日本茶専門店（株）おちゃらかにおいて、ふくろい茶の店頭販売を行うとともに、クラウンメロンを使用したフレーバーティーを開発した。
- (6) 農林水産省のモデル事業として、I o Tの技術を活用し、稲作の水管理コストを低減させる実証実験を平成29年度から3年かけて実施。浅羽地域で水田にセンサーを設置し、水位、水温、給水弁等を一元管理し、生産者がスマートフォンなどで状況を確認しながら給水弁を遠隔操作する仕組み。現在、田植えや収穫などの作業は、機械化が進んでいるが、水の管理は、農家が水田を見回り、手作業で行っている。生産効率の向上を検証する。

## 2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

| 取組名                              | 進捗状況 |    |    |    |    | 進捗状況等の説明  | 担当課                      |
|----------------------------------|------|----|----|----|----|---|--------------------------|
|                                  | 未着手  | 着手 | 順調 | 難航 | 達成 |   |                          |
| 2-1<br>遠州三山「寺のある暮らし」<br>推進プロジェクト |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○クラウンメロンタクシーを活用した観光ツアー               <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/6 (1日コース) 5人</li> <li>・8/11(宿泊コース) 3人</li> </ul> </li> <li>○ラグビーW杯開催地間交流事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県釜石市訪問(36人)実施☆</li> <li>・長野県上田市訪問(33人)実施☆</li> <li>・兵庫県神戸市訪問(3人)実施☆</li> </ul> </li> <li>○「ふじのくにしずおか観光大商談会」(9/12 東京、10/10 名古屋 10/24 大阪)☆</li> <li>○遠州三山風鈴まつり(6/1～8/31)☆</li> <li>○夜の賑わいづくり創出事業☆               <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠州三山ライトアップ(11/23～12/2)</li> <li>・街なか(袋井駅周辺)ライトアップ(1/18～3/3)</li> <li>・ふくろい夜宵スタンプラリー(1/18～3/3)</li> </ul> </li> <li>○健康文化観光講座               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ラグビーW杯インバウンドのためのツーリズム発展(4/27、75人)</li> <li>・「東海道宿駅伝馬制」と「宿場の役割」(3/2 70人)</li> </ul> </li> </ul> | 産業政策課<br>スポーツ政策課<br>市長公室 |
| 2-2<br>農業の未来を創る<br>プロジェクト        |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○給食野菜余り堆肥化プロジェクト☆<br/>袋井給食センターから出る野菜余りをあきは寮にて堆肥化 約1,000kg<br/>できた堆肥で栽培した野菜を学校給食に納入</li> <li>○ふくろい農商工交流会開催(講演・交流会)☆<br/>「見本市出展による販路開拓」<br/>「ヒット商品からみた消費スタイルの変化と特徴について」(12/13、153人参加)</li> </ul>   | 環境政策課<br>農政課             |
| 2-3<br>世界で戦える農産物と<br>ビジネスモデルの確立  |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○農産物お土産開発事業☆<br/>インバウンドやラグビーW杯に向けて新たなお土産を開発。袋井産の一番茶茶葉を100%使用したリーフ茶及びパッケージを開発</li> <li>○ふくろい茶ブランド力向上事業☆<br/>首都圏におけるふくろい茶の産地ブランド確立と新たなマーケットの開拓<br/>榎おちゃらかと委託販売契約</li> <li>○クラウンメロンの加工品販売促進<br/>⇒取扱企業H30実績「森永製菓・ハイチュウ 静岡クラウンメロン味」など53社</li> </ul>   | 農政課                      |

### 3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞 ]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 2-1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

| 指標名  | 単位 | 基準値<br>(基準年) | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31)     | 評価 |
|--|----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|----|
| 観光交流客数<br>[↑]【出典：第2次総合計画<br>／観光基本計画(後期計画)】 | 万人 | 423<br>(H26) | 466       | 464       | 495       | 475       | (新)505<br>(旧)468 | 😊  |
| 主要観光拠点のWi-Fi設置数<br>[↑]【出典：観光基本計画】          | 件  | 2<br>(H26)   | 3         | 4         | 4         | 5         | 10               | 😊  |

#### 2-2 農業の未来を創るプロジェクト

| 指標名                                 | 単位    | 基準値<br>(基準年)  | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|-------------------------------------|-------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|----|
| 耕作放棄地解消面積<br>[↑]【出典：農業振興ビジョン】       | ヘクタール | 10.7<br>(H26) | 5.6       | 18.1      | 30.8      | 11.3      | 11.0         | 😊  |
| 農業法人数<br>[↑]【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】   | 社     | 34<br>(H26)   | 34        | 35        | 38        | 37        | 39           | 😊  |
| 利用権設定面積<br>[↑]【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】 | ヘクタール | 960<br>(H26)  | 961.8     | 966.9     | 977.0     | 978.3     | 1,075        | 😊  |

#### 2-3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

| 指標名                         | 単位 | 基準値<br>(基準年) | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|-----------------------------|----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|----|
| お茶の海外輸出量<br>[↑]【出典：農政課】     | トン | 10<br>(H26)  | 10        | 7         | 10        | 6         | 15           | 😞  |
| メロン加工品取扱企業の数<br>[↑]【出典：農政課】 | 社  | 31<br>(H26)  | 24        | 28        | 46        | 53        | 35           | 😊  |

### 4 創生会議等における主な意見 (■…首都圏部会、●…ふくろい部会)

■「稼ぐチカラ」の向上は、内需・外需ともに重要。地域内での消費を増やす仕組みのほか、地域経済を牽引する企業や創業希望者を商工団体、金融、大学、市が役割分担のもと補完的に支援する体制を強化し、「しごと→ひと→まち」の順で活性化を目指してみたらどうか。産業分野としては、農業、製造業、観光が成長とイノベーションのカギを握るだろう。

■ご当地レベルの商品を無理に全国PRしても定着しない。まずは、品質を磨いて地元で愛される「地元ブランド銘品」を目指し、次に全国ブランド銘品に発展・移行させていくことがポイント。

■袋井の観光をさらに盛り立てるには、観光案内所が「道案内をするだけ」ではなく、遠州三山などの地域資源の魅力や価値を様々な角度から伝えられる「情報発信基地」になることが必要。

●昨今の観光は、世界遺産のような「モノ」がなくとも、その場所にしかない「コト」に人は魅力を感じる時代になった。

●「風鈴まつり」や「夜宵プロジェクト」は、客入りの少ない時期や日頃訪れる機会のない場所へ人を誘う仕掛けとして好評だった。インスタ映えなど、SNSにおける拡散を意識した戦略性も観光振興策に新たな息吹を吹き込んだと思う。

●成功している農業法人は、女性が経営に参画している。経理や宣伝、販売等に女性の視点を取り入れることが大事。

●袋井の「モノ」や「コト」を繋ぐものは何か。既存の「モノ」や「コト」に新たなコンセプトで付加価値をつける。

## ⑥ふくろい夜宵プロジェクト

夜間の観光消費の拡大に着眼し、遠州三山と街なか（JR袋井駅周辺）との連動による夜の賑わいを創出した。具体的には、遠州三山や街なかのライトアップ、飲食店のスタンプラリーを実施した。



【写真】街なか（JR袋井駅周辺）のライトアップ

## ⑦農産物お土産開発事業

茶の取引平均単価が減少傾向にあり、生産量も減少している。特に、単価が高く、取扱数量が多い一番茶については、新たな切り口で需要を喚起していくことが課題である。2019年には小笠山総合運動公園（エコパ）でラグビーW杯が開催される。海外からの訪問客が増えることが想定され、ラグビーW杯に向けて、新たなお土産づくりに着手した。



【写真左】農産物お土産開発事業で開発したリーフ茶 【写真右】市内茶畑の様子（豊沢地内）

## 挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

いつまでも光り輝き社会を支える人（アクティブ・シニア）づくりと将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

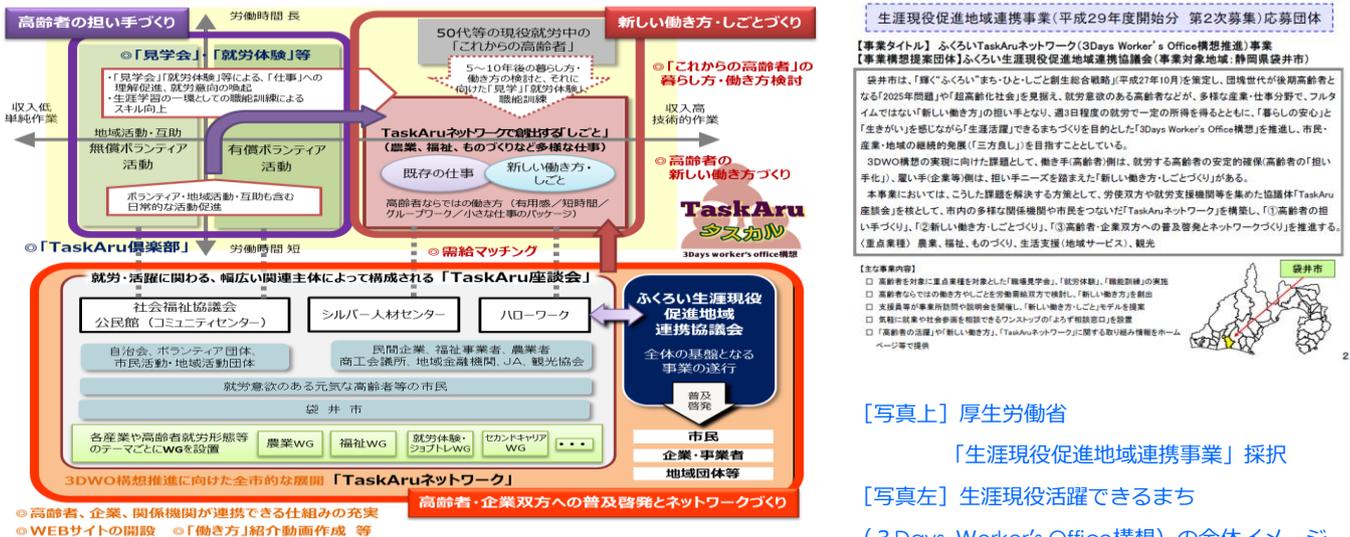
### 取組1 プラチナ社会の実現への取組

労働力人口の減少、高齢者人口の増大などへの対応と地域課題への解決に資する新たな働き方（生きがい就労）を創出し、市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちの実現を目指す。

#### ■ 3Days worker's office構想の推進

高齢者をはじめ、フルタイムでの就労が困難な方などを対象に、「生きがい就労」という新しい働き方を創出し、需要供給の総合調整のほか、ジョブトレーニング等の支援する仕組みを構築する。

[注] 3Days worker's office構想とは…「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら、生涯現役で活躍できる仕組み



[写真上] 厚生労働省

「生涯現役促進地域連携事業」採択

[写真左] 生涯現役活躍できるまち

(3 Days Worker's Office構想)の全体イメージ

#### ■ 小さな拠点づくり推進事業

誰もがアクセスしやすい場所に医療施設や金融機関、公共サービス施設を集約させることで、車に頼らず、“年をとっても暮らしやすいまち”の創出を目指す。

### 取組2 セルフメディケーションの推進

2025年問題への対応と医療費の抑制に向け、病院や診療所など、限りある地域の医療資源を持続的かつ効果的に利用するために、診療情報の共有化と自己の健康状態を常に把握できる社会基盤を整備する。

[注] セルフメディケーションとは… 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること

#### ■ 「地域共通診察券」の導入プロジェクト

「地域共通診察券」の導入により、診療情報の集約と各医療機関の共有化、保健・予防事業との連動を促進することで、セルフメディケーションの推進や健康寿命の延伸へのつながりが期待される。

### 取組3 歩いて楽しいまちづくり

市の中心核であるJR袋井駅周辺区域と約2.5km北に位置する健康・福祉・スポーツ機能集積エリアまでの区域内を“歩いて楽しい”健康的なまちづくりの先導区域として空間整備する。

#### ■歩いてみたくなる空間の整備

高齢化の進行に伴う医療費等への財政負担を軽減するため、従来から本市で取り組んでいる“歩く”の視点に立って、歩行者主役の心地よい空間を整備する。



【写真左】 東海道どまん中袋井宿場まつり



【写真右】 ミズベリングふくろい「原野谷川 de ひなまつり」

#### ■ウォーキングや健康増進のための活動拠点の整備

ウォーキングや健康増進などに取り組む人達が、集い、交流することができる空間を整備する。

### 取組4 自転車を活かしたまちづくり

平坦地が多いことや温暖な気候など、自転車利用に適した環境を活かし、自転車利用の推進によって、市民の健康を維持・増進するとともに、医療・介護費等の削減につなげ、「日本一健康文化都市」の実現を目指す。

#### ■自転車を活用した新しいライフスタイルの提案

市民の身近な移動手段である「自転車」を日常生活に取り入れ、新たなライフスタイルの実現に向けて「自転車」の持つメリットである「健康」、「経済」、「環境」、「時間」の4つの分野に分け、各種事業を実施していく。



【写真右】 エコパで開催された日本学生自転車競技連盟主催の全国大会



## 挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

### 1 現状と課題

- (1) 「プラチナ社会の実現への取組」については、生涯現役活躍できるまち（3 Days Worker's Office構想）の実現に向け、平成29年から市内の関係13団体で設立した「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」において、国の生涯現役促進地域連携事業の採択を受け、「ふくろいTaskArūネットワーク事務局」が相談等に加え、「大人の社会科見学」や「しごと体験」、「座談会」などを開催し、実績を積み上げてきた。次年度で委託事業の最終年を迎えることから、ハローワークやシルバー人材センター等との連携を踏まえた高齢者就労支援サービスの運営方針を整理する。
- (2) 「セルフメディケーションの推進」については、市民が自身の健康に関心を持ち、気軽に健康相談ができる環境をつくるため、地域活動の中心であるコミュニティセンターで健康講座や健康相談を行う「出張保健センター」を開催した。また、働く世代の健康づくりへの取組を推進するため企業訪問を実施し、健康経営への取組や「袋井市健康経営チャレンジ事業所」への登録を推進するとともに、主に経営者層を対象とした「健康経営推進セミナー」を開催した。さらに、新たに開発した健康管理システム「#2961（ふくろい）ウオーク」の普及を図り、働く世代からの健康づくりの推進を図った。  
今後は、本事業などを通じて広く市民の健康リテラシー向上や企業の健康経営の推進を図る。
- (3) 「歩いて楽しいまちづくり」については、歩いてみたくなる空間やコンテンツを創造していくため、6月9日に「ふくろい宿de花マルシェ」、3月2日に「東海道どまん中ふくろい宿場まつり」、10月20日に「東海道五十三次どまん中ふくろいウオーク」、10～3月にミズベリングふくろい（原野谷川にぎわい創出事業）などのイベントを開催した。また、ラグビーW杯に向けて、JR愛野駅メモリアルロードのリニューアル（花壇・モニュメント）を実施した。  
今後についても、JR袋井駅南地区や総合体育館の敷地内に快適な歩行空間を整備するとともに、「ミズベリング」（原野谷川の水辺空間を活用したイベント）を開催するなど、公園や道路、河川をはじめとする公共空間の多面的かつ創造的な利用を図り、市民のウォーキングを促進していく。
- (4) 「自転車を活かしたまちづくり」については、自転車を活用した新しいライフスタイルの提案を行うため、電動アシスト付き自転車補助金の交付や電動アシスト付き自転車貸出を実施した。また、日本学生自転車競技連盟主催のサイクルロードレースの全国大会を9月24日に小笠山総合運動公園（エコパ）で開催した。次年度も小笠山総合運動公園（エコパ）での開催が予定されており、全国規模の貴重なイベントの場として、サイクルスポーツの側面としての自転車の推進を図る。

## 2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

| 取組名                   | 進捗状況 |   |   |   |   | 進捗状況等の説明  | 担当課  |
|-----------------------|------|---|---|---|---|---|--|
|                       | 未着手  | 着手  | 順調  | 難航  | 達成  |   |  |
| 3-1<br>プラチナ社会の実現への取組  |      |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「3Days Worker's Office構想」の実現に向け取組を推進</li> <li>○ふくろいTaskAruネットワーク事務局による事業推進 相談等を実施 (H30相談件数:高齢者109件、企業42件)</li> <li>○大人の社会科見学 (34回、29事業所、146人参加)</li> <li>○しごと体験(28回、22事業所、108人参加) ⇒うち42人が就労</li> <li>○大人の社会科見学等参加高齢者及び参加企業との座談会(19回 開催)</li> <li>○ICTを活用したコミュニケーションツールの検証事業☆</li> <li>LINE公式アカウントを活用した情報発信検証事業 LINEを活用してコミュニティセンターから地域の行事や、社会教育学級・講座などの情報発信の検証事業を実施 (袋井西、三川、浅羽東、浅羽北コミュニティセンター)</li> <li>○健康運動サポーター活動推進事業 地域健康づくり指導者研修会(2回 19人) お元氣運動リーダー講習会(1/7 28人)</li> </ul> | 産業政策課<br>市長公室<br>協働まちづくり課<br>地域包括ケア推進課<br>健康づくり課<br>ICT街づくり課 |
| 3-2<br>セルフメディケーションの推進 |      |  |  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康管理システム(アプリ)「#2961ウオーク」本格稼働☆ (H30末現在 3,037人登録(システム:2,969人、チャレンジカード:68人))</li> <li>○健康経営の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等訪問数 65事業所(累計94事業所)</li> <li>・袋井市健康経営チャレンジ事業所 登録49件(累計70事業所)</li> </ul> </li> <li>○第8回健康都市連合国際大会でのプレゼンテーションの実施 (10/17～10/19@マレーシア・クチン市) WHO表彰:ベストプラクティス賞 AFHC(健康都市連合)表彰:クリエイティブ・ディベロップメント賞・プログレス賞</li> <li>○地域健康意識向上事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張保健センター 毎月1回 全コミュニティセンターで開催(156回 延べ4,329人)</li> </ul> </li> </ul>         | 健康づくり課<br>地域包括ケア推進課  |
| 3-3<br>歩いて楽しいまちづくり    |      |  |  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○東海道どまん中ふくろい宿場まつり(3/2)、東海道五十三次どまん中ふくろいウオーク(10/20)☆</li> <li>○ふくろい宿de花マルシェ開催(6/9、袋井宿場公園/メモリアル広場)☆</li> <li>○原野谷川にぎわい創出事業(ミズベリング)☆ ⇒市内外から歩くためにきてもらえる水辺空間を創出 (10/19、12/8、3/3、3/18)</li> <li>○愛野駅メモリアルロードのリニューアル☆ (モニュメント・花壇)</li> </ul>   | 協働まちづくり課<br>スポーツ政策課<br>企画政策課<br>都市整備課                        |
| 3-4<br>自転車を活かしたまちづくり  |      |  |  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○電動アシスト付き自転車補助金 (市内在住60歳以上に1万円/人を補助) ⇒50件延べ50万円補助</li> <li>○電動アシスト付き自転車貸出事業 (市内在住60歳以上に最長3ヶ月間) ⇒延べ33人に貸し出し(年間2回貸出)</li> <li>○サイクルロードレース開催事業 日本学生自転車競技連盟主催の全国大会を開催(9/24@エコパ 大学、高校27校85人が参加)</li> </ul>  | 協働まちづくり課<br>企画政策課<br>スポーツ政策課                                 |

### 3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞 ]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 3-1 プラチナ社会の実現への取組

| 指標名                                      | 単位 | 基準値<br>(基準年)                                    | H27<br>年度                                       | H28<br>年度                                       | H29<br>年度                                       | H30<br>年度                                       | 目標値<br>(H31)                           | 評価 |
|--|----|---|---|---|---|---|--|----|
| 健康寿命の延伸(お達成度)<br>[↑]【出典：第2次総合計画／健康づくり計画】 | 年  | 男17.51<br>(県内15位)<br>女20.87<br>(県内20位)<br>(H24) | 男17.44<br>(県内19位)<br>女20.86<br>(県内21位)<br>(H25) | 男17.46<br>(県内24位)<br>女20.77<br>(県内21位)<br>(H26) | 男17.66<br>(県内24位)<br>女21.02<br>(県内21位)<br>(H27) | 男17.78<br>(県内23位)<br>女21.18<br>(県内21位)<br>(H28) | 男17.69<br>(10位以内)<br>女21.17<br>(10位以内) | 😊  |
| 子育て世代の社会移動<br>[↓]【出典：市長公室】               | 世帯 | △60<br>(H26)                                    | △60   | △80   | △80   | △60   | 均衡<br>(±0)                             | 😞  |

#### 3-2 セルフメディケーションの推進

| 指標名                                   | 単位 | 基準値<br>(基準年) | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|---------------------------------------|----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|----|
| 「地域共通診察券」参加医療機関数<br>[↑]【出典：地域包括ケア推進課】 | 機関 | —<br>(H26)   | 未実施       | 未実施       | 未実施       | 未実施       | 39           | 😞  |

#### 3-3 歩いて楽しいまちづくり

| 指標名                             | 単位  | 基準値<br>(基準年)   | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度       | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|---------------------------------|-----|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|--------------|----|
| JR袋井駅南北連絡線利用者数<br>[↑]【出典：企画政策課】 | 人/日 | 8,098<br>(H26) | 8,134     | 未実施       | 未実施       | 未実施<br>(R2実施予定) | 10,000       | 😊  |

#### 3-4 自転車を活かしたまちづくり

| 指標名   | 単位 | 基準値<br>(基準年)  | H27<br>年度 | H28<br>年度 | H29<br>年度 | H30<br>年度 | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|---|----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|----|
| 1週間に1回以上自転車を利用する<br>人の割合<br>[↑]【出典：自転車を活かしたまちづくり指針】 | %  | 20.3<br>(H26) | —         | 16.6      | 14.7      | —         | 25.0         | 😞  |

## 4 創生会議等における主な意見 (■…首都圏部会、●…ふくろい部会)

■ここ数年で企業の人手不足感は急増した。定年退職後の高齢者も「自分の生活や暮らしの充実」のために働くことを望むなど意識の変化が現れている。シルバー人材センターに求められる役割も、これまで単純労働の割り振りから大きく変革が迫られており、タスカルネットワークの取組は今後一層重要となる。

■Society5.0社会では、新たな結びつきが価値を生み出す時代。これまでなかった新たな「つながり」や「暮らし」が次々と登場するだろう。市民には社会の変化をいち早く体験でき、未来や生活を自らイメージできるような取組が展開されるとよい。

■今後の地域づくりでは、関係者で共有する「情報」の重要性が増す。「情報」が人と人を繋げ、新たな展開のカギとなる。

●核家族や独居老人も増えている今、暮らしやすいまちづくりには、各世代が互いに支え合う関係をどのように築いていくかは避けられない地域課題。コミュニティセンターへの期待は大きい。

●袋井は暮らしやすい街ではあるが、女性やよそ者が自分で「何か新しいことをやろう」とする人にはハードルが高い。浜松や磐田には、何かをやろう・やりたいと思う人が気軽に集まり、相談できる場所があり、新たなことを学べる場もある。

⑧ ICTを活用したコミュニケーションツールの検証事業

特色ある地域づくり活動を持続的かつ発展的に実施するため、多くの方に地域づくり活動に興味、関心を持ってもらうことや、子育て世代や働き盛りの30代から50代の世代に、次世代の担い手として参画してもらうことが必要。ICTを活用したコミュニケーションツールの有効性を検証する事業として、「LINE公式アカウント」を活用し、袋井西、三川、浅羽東、浅羽北の4コミュニティセンターをモデル館として実施した。コミュニティセンターから、地域の行事や社会教育学級・講座などの情報発信を行った。



⑨ 健康都市に関するWHO（世界保健機関）、AFHC（健康都市連合）表彰

健康都市に関する様々な発表や意見交換を通じた情報収集や新たなつながりづくりを目的として、マレーシアで開催された「第8回健康都市連合国際大会」に参加し、本市が進める「日本一健康文化都市」の実現に向けた取組についてプレゼンテーションを行った。

本市における「日本一健康文化都市」の実現に向けた、市民主体の様々な取組に対して、WHO（世界保健機関）及びAFHC（健康都市連合）から、計5部門において表彰を受けた。



**(WHO表彰) ベスト・プラクティス賞**  
 健康的な食品環境を通じての健康食習慣の促進  
 (論文タイトル) 「生産者が参加する食育活動と学校給食を活用した健康的食習慣の推進について」  
 食生活の基礎を定着させ生活習慣病予防を推進する安心・安全な地場産農産物を活用した学校給食による食育の事例紹介。地場野菜を活用した児童の野菜摂取量の増量や地域経済の活性化、アレルギー対応給食の提供など、食を通じた学びや地域とのつながりなどの取組を記述。

**(AFHC表彰) クリエイティブ・ディベロップメント賞**  
 健康都市プログラムを通してのSDGsの達成  
 (論文タイトル)  
 「日本一健康文化都市に向けた袋井市のまちづくり」  
 誰もが生き生きと安心して暮らすことができる地域社会を目指し、行政と地域、市民と連携した事例紹介。「日本一健康文化都市宣言」や「日本一健康文化都市条例」の制定をはじめ、健康運動サポーターや健康づくり推進員の活動、高齢者就労の促進(3DWO構想)、コミュニティセンターを核とした地域活動など総合計画の3つの方針に基づく取組を記述。

[写真] 健康に関するWHO（世界保健機関）、AFHC（健康都市連合）表彰

## 第4章 戦略を支える取組 [第2次総合計画]

### 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞 ]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 4-1 活力みなぎる産業のあるまちづくり

(参考：国の政策分野1) 地方における安定した雇用を創出する

| 指標名  | 単位 | 基準値<br>(基準年)   | H27<br>年度      | H28<br>年度      | H29<br>年度      | H30<br>年度      | 目標値<br>(H31)     | 評価 |
|--|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----|
| 満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合[↑]【出典：市民意識調査】          | %  | —<br>(H26)     | 21.4           | 25.8           | 35.3           | 26.8           | 50.0             | 😊  |
| 製造品出荷額等(従業員4人以上)<br>[↑]【出典：第2次総合計画/工業振興計画】     | 億円 | 4,957<br>(H25) | 5,175<br>(H26) | 5,370<br>(H27) | 5,768<br>(H28) | 5,880<br>(H29) | 5,340            | 😄  |
| 観光交流客数 ※再掲<br>[↑]【出典：第2次総合計画<br>/観光基本計画(後期計画)】 | 万人 | 423<br>(H26)   | 466            | 464            | 495            | 475            | (新)505<br>(旧)468 | 😄  |
| 主要農産物産出額<br>[↑]【出典：第2次総合計画/農業振興ビジョン】           | 億円 | 77.6<br>(H26)  | 73.3           | 70.6           | 69.8           | 72.8           | 75.7             | 😊  |

#### 4-2 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

(参考：国の政策分野2) 地方に新たな人の流れをつくる

| 指標名  | 単位    | 基準値<br>(基準年)  | H27<br>年度           | H28<br>年度           | H29<br>年度          | H30<br>年度          | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|--|-------|---------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------|----|
| 袋井市が住みよいところと思っている人の割合[↑]【出典：市民意識調査】                  | %     | 73.3<br>(H26) | 66.4                | 67.3                | 65.9               | 71.9               | 80.0         | 😞  |
| 地区計画などの実施面積<br>[↑]【出典：第2次総合計画】                       | ヘクタール | 299<br>(H26)  | 299<br>3箇所<br>で協議中  | 299<br>3箇所<br>で協議中  | 308<br>2箇所<br>で協議中 | 308<br>2箇所<br>で協議中 | 360          | 😊  |
| 一人1日あたりの可燃ごみの排出量<br>[↓]【出典：市民意識調査/参考：環境基本計画】         | グラム   | 518<br>(H26)  | 529                 | 529                 | 529                | 543                | 512          | 😞  |
| 公共施設のWi-Fiスポット設置割合<br>[↑]【出典：第2次総合計画/参考：ICT推進計画】     | %     | 42.5<br>(H26) | 45.0                | 57.5                | 62.5               | 75.0               | 87.5         | 😊  |
| 住宅の耐震化率<br>[↑]【出典：第2次総合計画<br>/参考：耐震改修促進計画】           | %     | 91.3<br>(H26) | 92.0                | 92.6                | 93.3               | 93.9               | 94.5         | 😄  |
| 浸水被害想定家屋数<br>[↓]【出典：第2次総合計画<br>/参考：中部豪雨災害対策アクションプラン】 | 戸     | 295<br>(H26)  | 295<br>高尾放水路<br>整備中 | 295<br>高尾放水路<br>整備中 | 261                | 261                | 261          | 😄  |
| 人身事故件数<br>[↓]【出典：第2次総合計画<br>/参考：第9次交通安全計画】           | 件     | 775<br>(H26)  | 758                 | 720                 | 749                | 649                | 740          | 😄  |

#### 4-3 こどもがすこやかに育つまちづくり

(参考: 国の政策分野3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

| 指標名   | 単位 | 基準値<br>(基準年)  | H27<br>年度     | H28<br>年度     | H29<br>年度     | H30<br>年度     | 目標値<br>(H31) | 評価 |
|---|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|----|
| 「自分が住んでいるまちが子どもを産み、育てやすいところ」と感じている人の割合<br>[↑]【出典: 市民意識調査】 | %  | —<br>(H26)    | 49.3          | 38.9          | 45.1          | 45.8          | 80.0         | ☹️ |
| 合計特殊出生率<br>[↑]【出典: 第2次総合計画】                               | %  | 1.71<br>(H25) | 1.73<br>(H26) | 1.69<br>(H27) | 1.64<br>(H28) | 1.79<br>(H29) | 1.81         | 😊  |
| 保育所待機児童数<br>[↓]【出典: 第2次総合計画<br>／参考: 子ども・子育て支援事業計画】        | 人  | 30<br>(H27)   | 25<br>(H28)   | 27<br>(H29)   | 28<br>(H30)   | 58<br>(H31)   | 0            | ☹️ |
| 全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6・中3)<br>[↑]【出典: 第2次総合計画】        | %  | 50.0<br>(H26) | 10.0          | 100.0         | 12.5          | 0             | 87.5         | ☹️ |

#### 4-4 市民がいいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

(参考: 国の政策分野4) 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

| 指標名   | 単位  | 基準値<br>(基準年)                                    | H27<br>年度                                       | H28<br>年度                                       | H29<br>年度                                       | H30<br>年度                                       | 目標値<br>(H31)                           | 評価 |
|---|-----|---|---|---|---|---|--|----|
| 「地域の絆や支え合いの仕組みが形成されている」と感じている人の割合<br>[↑]【出典: 市民意識調査】              | %   | —<br>(H26)                                      | 43.3  | 37.0  | 41.9  | 50.6  | 80.0                                   | ☹️ |
| お達者度(男性／女性) ※再掲<br>[↑]【出典: 第2次総合計画／健康づくり計画】                       | 年   | 男17.51<br>(県内15位)<br>女20.87<br>(県内20位)<br>(H24) | 男17.44<br>(県内19位)<br>女20.86<br>(県内21位)<br>(H25) | 男17.46<br>(県内24位)<br>女20.77<br>(県内21位)<br>(H26) | 男17.66<br>(県内24位)<br>女21.02<br>(県内21位)<br>(H27) | 男17.78<br>(県内23位)<br>女21.18<br>(県内21位)<br>(H28) | 男17.69<br>(10位以内)<br>女21.17<br>(10位以内) | 😊  |
| 市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合<br>[↓]【出典: 第2次総合計画／健康づくり計画】                | %   | 9.2<br>(H25)                                    | 9.7<br>(H26)                                    | 10.3<br>(H27)                                   | 10.6<br>(H28)                                   | 10.4<br>(H29)                                   | 7.8                                    | ☹️ |
| 総合健康センターでの総合相談件数<br>[↑]【出典: 第2次総合計画】                              | 件   | 2,500<br>(H26想定値)                               | 2,080   | 2,495   | 2,828   | 3,423   | 2,900                                  | 😊  |
| 自治会加入率<br>[↑]【出典: 第2次総合計画】  | %   | 87.5<br>(H27)                                   | 87.2<br>(H28)                                   | 86.4<br>(H29)                                   | 85.9<br>(H30)                                   | 85.3<br>(H31)                                   | 89.5                                   | ☹️ |
| 協働まちづくりセンター登録団体数<br>[↑]【出典: 第2次総合計画】                              | 団体  | 46<br>(H26)                                     | 52  | 58  | 54  | 53  | 66                                     | ☹️ |
| 「男女共同参画社会づくり宣言」<br>宣言事業所の数<br>[↑]【出典: 第2次総合計画<br>／第3次男女共同参画推進プラン】 | 事業所 | 30<br>(H26)                                     | 39  | 49  | 49  | 50  | 65                                     | 😊  |

## 第5章 地方創生交付金等の活用状況

### ○平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

#### 第1弾 ②6月補正⇒②7全額繰越

総額：116,161千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔消費喚起・生活支援型〕

○事業費 72,653千円（国費10/10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

地域における消費喚起策「元気はつらつクーポン券」（プレミアム付き地域商品券）の発行

発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円（プレミアム率20%/66,000千円）

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型/基礎分〕

○事業費 43,508千円（国費10/10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

#### 第2弾 ②711月補正

総額：20,000千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型/上乘せ交付（タイプⅠ）〕

○事業費 10,000千円（国費10/10）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

・「3 Days Worker's Office 構想」策定事業

「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型/上乘せ交付（タイプⅡ）〕

○事業費 10,000千円（国費10/10）

○交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）

○施策の概要

・まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験  
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

### 第3弾 ㉗2月補正⇒㉘全額繰越

総額：80,000千円

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

#### 「3 Days Worker's Office 構想」実装化事業

- ・基礎調査(㉗実施)により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

#### 「グローバル戦略」加速化事業

- ・TPPを見据えたクラウンメロンの輸出促進  
新興国市場での需要喚起と販路拡大(トップセールス、海外バイヤー招聘ほか)
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備  
市民の英語力向上(英検受験助成ほか)、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

### ○平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

### 第4弾 ㉘9月補正

総額：50,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金(1年目/H28-30) <第39回地域再生計画認定>**
- 事業費 **50,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

#### グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化  
市PR動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出  
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化  
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、ロボットプログラミング教育支援 など

**第5弾** ㊸2月補正⇒㊹全額繰越

総額：16,000千円

○交付金名 **地方創生拠点整備交付金<第41回地域再生計画認定>**○事業費 **16,000千円(国費1/2)**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

**地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画**

- ・縁側づくり(事務室の増築)と土間(庇)の設置
- ◇ENGAWA(事務室)ヒトとコトの交流ゾーン/DOMA(庇)モノの交流ゾーン
- ・備品購入(老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新)

## ○平成29年度 「地方創生事業の加速」

**第6弾** ㊹当初

総額：50,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金(2年目/H28-30)<第39回地域再生計画認定>**○事業費 **50,000千円(国費1/2)**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

**グローバルイノベーション戦略**

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化  
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出  
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化  
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、市民の英語力向上 など

**第7弾** ㊹交付(国委託事業)

総額：20,004千円

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業(1年目/H29-31)**○事業費 **20,004千円(国費10/10)**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

**ふくろいTaskAruネットワーク(3Days Worker's Office構想推進)事業**

- ・高齢者の担い手づくり(職場見学会、就労体験、職能訓練の実施)
- ・新しい働き方・しごとづくり(需給双方による検討)
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

○平成30年度 「地方創生事業の深化」

第8弾 ③⑩当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H28－30）〈第39回地域再生計画認定〉

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

**グローバルイノベーション戦略**

- ・特産物やラグビーW杯をフックにした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践  
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出  
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化  
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

採択  
内閣府

第9弾 ③⑩6月補正

総額：199,600千円

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 132,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

**「稼ぐチカラ」向上戦略**

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化  
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり  
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

採択  
内閣府

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 67,600千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

**「日本一健康文化都市」実現戦略**

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり  
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション  
特色ある地域づくり推進、未来の教育実証研究 など

採択  
内閣府

## 第10弾 ⑳交付（国委託事業）

総額：20,099千円

- 事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／H29－31）**
- 事業費 **20,099千円（国費10／10）**
- 交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要



### **ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業**

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

## ○平成31年度 「第1期の総仕上げと第2期総合戦略を見据えた展開」

## 第11弾 ㉑当初

総額：195,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **138,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要



### **「稼ぐチカラ」向上戦略**

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化  
商店街・風鈴まつり×イルミネーション・ライトアップ、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり  
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **57,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要



### **「日本一健康文化都市」実現戦略**

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり  
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション  
特色ある地域づくり推進、未来の教育実証研究 など

- 事業名 **生涯現役促進地域連携事業（3年目／H29-31）**
- 事業費 **20,108千円（国費10/10）**
- 交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要



**ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業**

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

（ふくろいトピックス10）

**⑩輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議**

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している。



■ **地方創生会議委員名簿**（R元.6末現在／順不同・敬称略）

**[ふくろい部会]**

| 所属                     | 役職    | 氏名     | 所属         | 役職  | 氏名      |
|------------------------|-------|--------|------------|-----|---------|
| (株)杏林堂薬局               | 代表取締役 | 青田 英行  | 袋井市観光協会    | 会長  | 谷 敦     |
| Realabo（食と子育てを楽しむサークル） | 代表    | 足立 美和  | 袋井商工会議所    | 顧問  | 豊田 富士雄  |
| 宗教法人法多山尊永寺             | 住職    | 大谷 純應  | 静岡産業大学経営学部 | 学部長 | 丹羽 由一   |
| 日本貿易振興機構浜松貿易情報センター     | 所長    | 志 牟田 剛 | 静岡理工科大学    | 学長  | 野 口 博   |
| (株)THE BLUE OCEAN      | 代表取締役 | 竹原 興紀  | 山名学園山名幼稚園  | 理事長 | 諸 井 理 恵 |

**[首都圏部会]**

| 所属            | 役職     | 氏名    | 所属           | 役職      | 氏名     |
|---------------|--------|-------|--------------|---------|--------|
| 凸版印刷(株)       | 特別相談役  | 足立 直樹 | ココカラファイン(株)  | 代表取締役社長 | 塚本 厚志  |
| (株)大和総研       | 主席研究員  | 内野 逸勢 | イービストレード(株)  | 代表取締役社長 | 寺井 良治  |
| ネオファーマジャパン(株) | 代表取締役  | 河田 聡史 | (株)大和コンピューター | 代表取締役社長 | 中村 憲司  |
| (株)三菱総合研究所    | 主席研究員  | 北 井 渉 | 楽天カード(株)     | 常務執行役員  | 幡 鎌 大介 |
| (株)JTB        | 人財開発部長 | 鈴木 良照 | (株)コクーン      | 代表取締役   | 松本 朋丈  |

**[金融機関支店長会議]**

|          |            |          |         |          |
|----------|------------|----------|---------|----------|
| 静岡銀行     | スルガ銀行      | 清水銀行     | 静岡県労働金庫 | 浜松磐田信用金庫 |
| 島田掛川信用金庫 | 遠州中央農業協同組合 | 日本政策金融公庫 |         |          |

## ■ 地方創生会議開催状況

### [ふくろい部会（委員：6人（～H30）10人（R元～）]

| No. | 開催日         | 場所    | 内容  |
|-----|-------------|-------|---|
| 1   | H27.5.19（火） | 袋井市役所 | 袋井版「総合戦略」の方向性について                         |
| 2   | H27.7.21（火） | 袋井市役所 | 袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）   |
| 3   | H28.6.29（月） | 袋井市役所 | 地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税           |
| 4   | H29.6.28（水） | 袋井市役所 | 地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換                     |
| 5   | H30.6.27（水） | 袋井市役所 | 地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換                     |
| 6   | R元.7.8（月）   | 袋井市役所 | 地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、<br>第2期総合戦略策定に向けた意見交換 |

### [首都圏部会（委員：10人）]

| No. | 開催日         | 場所        | 内容  |
|-----|-------------|-----------|---|
| 1   | H27.5.12（火） | 都市センターホテル | 袋井版「総合戦略」の方向性について                         |
| 2   | H27.7.31（金） | 都市センターホテル | 袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）   |
| 3   | H28.7.3（月）  | 都市センターホテル | 地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税           |
| 4   | H29.7.3（月）  | 都市センターホテル | 地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換                     |
| 5   | H30.7.3（火）  | 都市センターホテル | 地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換                     |
| 6   | R元.7.1（月）   | 都市センターホテル | 地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、<br>第2期総合戦略策定に向けた意見交換 |

### [金融機関支店長会議（委員：8人）]

| No. | 開催日          | 場所        | 内容   |
|-----|--------------|-----------|--|
| 1   | H27.5.26（火）  | 袋井市役所     | 袋井版「総合戦略」策定方針について                              |
| 2   | H27.7.29（水）  | 袋井市役所     | 袋井版「総合戦略」について意見交換<br>①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案） |
| 3   | H27.10.20（金） | 袋井市役所     | 袋井版「総合戦略」について意見交換 ①人口ビジョン、②総合戦略/政策パッケージ        |
| 4   | H28.3.2（水）   | 袋井市役所     | 地域内の就労に関する需要供給調査について（調査依頼）                     |
| 5   | H28.7.22（金）  | 袋井市役所     | 地域内の就労に関する需要供給調査について                           |
| 6   | H29.2.15（水）  | 袋井市役所     | 平成29年度当初予算の概要について、3Days Worker's Office構想について  |
| 7   | H29.11.1（水）  | 袋井市役所     | 平成28年度地方創生取組結果の概要<br>政策立案に向けた意見交換              |
| 8   | H30.8.23（木）  | 袋井市総合センター | 平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要<br>政策立案に向けた意見交換    |
| 9   | R元.7.17（水）   | 袋井市役所     | 地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、<br>第2期総合戦略策定に向けた意見交換      |

## ⑪ 地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

| No. | 開催日           | 場所           | 内容  |
|-----|---------------|--------------|---|
| 1   | H27.12.19 (土) | エコパ<br>スタジアム | ラグビーワールドカップの魅力について<br>【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会<br>事業部長 伊 達 亮 氏<br>メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり<br>【講師】EY総合研究所(株)<br>未来社会・産業研究部長 小 川 高 志 氏 |
| 2   | H28.1.21 (木)  | 袋井市役所        | 労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～<br>【講師】(株)リクルートワークス研究所<br>主任研究員 戸 田 淳 仁 氏   |
| 3   | H28.2.18 (木)  | 袋井市役所        | ホームステイ × まちの国際化<br>～我が家は、ときどきインターナショナル～<br>【講師】Homestay in Japan / (株)ネクステージ<br>代表取締役 竹 島 千 歳 氏                                       |
| 4   | H28.11.9 (水)  | 袋井市役所        | I C Tまちづくりの近況と今後の展望について<br>【講師】東京大学大学院情報学環<br>教授 須 藤 修 氏  |
| 5   | H29.9.1 (金)   | 袋井市役所        | シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望に<br>ついて<br>【講師】(一社)シェアリングエコノミー協会<br>内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積 田 有 平 氏  |
| 6   | H30.12.25 (火) | 袋井市役所        | 変化の激しい時代を生きる子ども達のこれからの教育とは<br>【講師】小金井市立前原小学校校長 松田孝氏、<br>Google Japan Google for Education<br>マーケティング統括部長 スチュアート・ミラー氏                  |
| 7   | H31.3.15 (金)  | 袋井市役所        | 地域所得力調査の結果から見る袋井の現状と課題<br>【講師】(一財)静岡経済研究所調査研究部長 山田慎也氏   |

## ⑫金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

## 【連携協定の状況】

(R元.6末現在)

| No. | 金融機関名      | 調印日      | 取組テーマ                                   |
|-----|------------|----------|---|
| 1   | 磐田信用金庫     | H27.9.7  | 「農業」と「食」に関すること<br>(例) 新規就農者等の創業支援       |
| 2   | 静岡銀行       | H28.1.19 | 「健康」をキーワードにした施策連携<br>(例) 産業×健康づくりほか     |
| 3   | 浜松信用金庫     | H28.1.21 | アウトバウンド戦略とインバウンド戦略<br>(例) 農産物の海外輸出と観光PR |
| 4   | 掛川信用金庫     | H28.2.15 | 潜在的な労働力の発掘<br>(例) 女性の活躍などの創業支援          |
| 5   | 遠州中央農業協同組合 | H28.2.18 | 競争力のある商品づくり<br>(例) ふるさと納税返礼品の充実         |
| 6   | スルガ銀行      | H28.3.14 | まちの賑わいづくり<br>(例) 空き店舗の利活用               |
| 7   | 静岡県労働金庫    | H28.3.17 | 若者〔勤労者〕の定住促進<br>(例) 住まい方など将来設計への助言      |
| 8   | 清水銀行       | H28.3.25 | 地域を担う人材育成の推進<br>(例) 実践的な金融経済教育の普及       |

## ■金融機関との連携による取組事例

○共通事項(全ての金融機関が参画) 地域内就労需要供給実態調査、金融機関支店長会議

○個別事項(協定締結順/R元.6末現在)

- ・磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介(山口県宇部市)
- ・静岡銀行 地方創生特設PRブース設置(袋井支店)
- ・浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援、クラウドファンディング推進
- ・遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR
- ・スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
- ・静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR



【写真】第9回金融機関支店長会議

# 第6章 参考資料 [やらまいか通信 (抜粋)]

## 全体 地方創生会議／人口

第130号 地方創生 やらまいか通信 vol.130

平成30年度「地方創生推進交付金」採択結果

県内トップ (政令市を除く)

交付総額: **124,800千円**

(新規2件、継続1件、全3件)

地方創生の推進は加速と深化に向けて、内閣府に対し、継続事業である「グローバルイノベーション戦略」(H28～H30)に加え、新たな政策パッケージ(H30～H32)2件を追加申請。審査の結果、申請した3件の採択(H30.4.14採択済)

今後は、各事業の事業立てを行い、6月申請会に採択予算を上乗せする予定。

| 事業名    | 採択額(千円) | 種別 |
|--------|---------|----|
| H30事業費 | 50,000  | 継続 |
| H30.4  | 132,000 | 新規 |
| H30.5  | 67,600  | 新規 |
| H30.6  |         |    |
| H30.7  |         |    |

第141号 地方創生 やらまいか通信 vol.141

地方創生スタートから4回目の夏。評価と次なる戦略の方向性は…

今後の地方の暮らしは、「ICTの活用」と「人のつながり」がキーワード

創生会議「ふくろい部会」

リアルとバーチャルの融合と選択 価値創出は「発想の転換」が必要

創生会議「首都圏部会」

第147号 地方創生 やらまいか通信 vol.147

地域の「稼ぐチカラ」の強化には…

官民連携による事業承継や創業支援に加え、EV化やICTを農業などの新たな取組を地域内は広げていくことが必要

創生会議「金融地産連携部会」での意見紹介

「長官特別の増加」と「継続性の確保」が今後の課題

K.F.I「農業産出額」から産出額を見る「観光振興」など、高い成長が期待されているものがあふれ、「観光振興」や「農業産出額」など、目標値が達成できているものもあること、その中でも特に注目しているものについて、

「EV化やICTを農業など、新たな取組を地域内は広げていくことが必要」

農林水産省「スマート農業」で、農作業の省力化、省力化による労働力の確保、農産物の品質向上、省力化による労働力の確保、農産物の品質向上、省力化による労働力の確保、農産物の品質向上、

## 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

第136号 地方創生 やらまいか通信 vol.136

県教委「コアスクール」指定

実社会との接点を重視した商業教育における課題解決型プログラムに基づく学力向上プログラム

（短期間教育委員会の方針/総合教育会議）

- 2018年から新たに県立高校43校をコアスクール（拠点校）に指定。
- 専門的知識の向上やグローバル教育の推進などに取り組む方針。

コアスクールは目的別に4種類を設け、公募。

- 進学重点…11校
- 学力向上…11校
- 学力進展…11校
- 英語教育…6校

袋井商業高等学校

（袋井商業の提案内容）

実社会との接点を重視した商業教育における課題解決型プログラムに基づく学力向上プログラム

① 進路指導（進路・社会的スキル・職業教育の推進）

② 実習・専門的知識の習得（本業の現場実習、実習・実践教育の推進）

③ 英語・ICT活用（英語・ICT活用による国際化の推進）

④ 地域貢献（地域貢献活動の推進）

⑤ 特色ある教育（特色ある教育の推進）

⑥ その他（その他）

第140号 地方創生 やらまいか通信 vol.140

パナソニック静岡工場 × 袋井市 洗濯機でシティプロモーション

「Made in 袋井」の文字や袋井市キャラクター「かわら」をデザインしたPOP広告やラッピングバス

パナソニック静岡工場 × 袋井市 地域活性化プロジェクト

パナソニック静岡工場 × 袋井市 地域活性化プロジェクト

パナソニック静岡工場 × 袋井市 地域活性化プロジェクト

第143号 地方創生 やらまいか通信 vol.143

TOPPAN × 袋井市 「未来の教室」実証事業

Edtech (IT等を活用した先端教育法) の普及に向けて～

目指す未来の教室(=未来の学び方)の姿

この事業の意義

子供たちの学びの環境を、開かれた学びの場にする。子供たちの学びの環境を、開かれた学びの場にする。

この事業の意義

子供たちの学びの環境を、開かれた学びの場にする。子供たちの学びの環境を、開かれた学びの場にする。

第149号 地方創生 やらまいか通信 vol.149

クルマ+ものづくりに熱中する学生たちが小笠山総合運動公園(ふくろい)に集結!

第16回 全日本学生フォーミュラ大会 2018.9.4(土)～9.8(日)

第16回 全日本学生フォーミュラ大会 -ものづくり-デザインコンペティション 主催:公益社団法人自動車技術会

静岡理工科大学

第155号 地方創生 やらまいか通信 vol.155

若者×地域学

今年のテーマは「観光誘客」

今年度のテーマは「観光誘客」

今年度のテーマは「観光誘客」

今年度のテーマは「観光誘客」

第166号 地方創生 やらまいか通信 vol.166

FUKUROI FREE Wi-Fi Premium

利用時間 1回最大15分(接続回数4回)

遠州三山における袋井市フリーWi-Fi～Wi-Fiを活用した初詣へのおもてなしと情報発信の活性化～

1. サービス開始期間: 2018年12月31日(月)

2. 利用期間: 2018年12月31日(月)～2019年1月31日(木)

3. 提供場所: 下表のとおり

| 提供場所      | 提供時間     |
|-----------|----------|
| 袋井市役所2F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所3F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所4F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所5F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所6F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所7F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所8F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所9F   | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所10F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所11F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所12F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所13F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所14F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所15F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所16F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所17F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所18F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所19F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所20F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所21F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所22F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所23F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所24F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所25F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所26F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所27F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所28F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所29F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所30F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所31F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所32F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所33F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所34F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所35F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所36F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所37F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所38F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所39F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所40F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所41F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所42F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所43F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所44F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所45F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所46F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所47F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所48F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所49F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所50F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所51F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所52F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所53F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所54F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所55F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所56F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所57F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所58F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所59F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所60F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所61F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所62F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所63F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所64F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所65F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所66F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所67F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所68F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所69F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所70F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所71F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所72F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所73F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所74F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所75F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所76F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所77F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所78F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所79F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所80F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所81F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所82F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所83F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所84F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所85F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所86F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所87F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所88F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所89F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所90F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所91F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所92F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所93F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所94F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所95F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所96F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所97F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所98F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所99F  | 「だんご屋」併設 |
| 袋井市役所100F | 「だんご屋」併設 |

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.168

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**商業デザインコンクール@袋商**  
～地域とつながる新たな仕組みづくりへの挑戦～

応募締切 **平成31年2月15日(金)**

投票はこちら **袋商ショッププロモーション** 検索

賛助会との協力を得た商業教育における課題解決型教育プログラム  
同校を代表する「袋商ショップ」の協力業者(約50社)のうち、ポスター製作の発注に賛同した10社のP.R.ポスターを学生が制作。投票活動を通じ、地域活性化に繋げたい。

| ボスターコンクール協賛企業      |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1 事務所のマックス         | 6 株式会社 どんどこあさひ         |
| 2 株式会社 たこ真 袋井本店    | 7 ニシオ自販株式会社            |
| 3 株式会社 鶴田屋本舗 「心の郷」 | 8 株式会社 ひしん             |
| 4 ちんぽん菓子店          | 9 幸のふん                 |
| 5 有限会社 中央バスストップ    | 10 有限会社 レックランドフックフ 原島店 |

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.170

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**ECOPAドリームプロジェクト**  
**近未来技術体験セミナー**  
ちまっと先の未来を体験

2019年8月28日(金) 山崎山崎建設公園 ECOPAドリーム本社会場

まちを先進融合技術の Show Case に  
先進技術に学ぶ機会を創る「1-10歳の未来」を体験できる場の創出

1日体験型 親子参加 約100名

セミナー85名  
無料から参加可 企業内研修体感型 約50名

自由な学びと技術の創出

ネットワーキング 約50名

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.176

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**見守りサービス**  
**「どこニヤン GPS BoT」 実証実験**

01 現在地だけでなく、移動履歴もひと目でわかる。

アプリをインストールし、自分の現在地が読み込まれます。  
遠く1週間分の移動履歴も確認できます。  
GPS履歴をGPSアナログデータに変換して、2次元地図画像を生成します。

スマートフォンアプリを遊んで、いつでも離れたお子様の居場所を確認！

02 出発・到着などを自動でお知らせ。  
(プッシュ通知機能)

豊な校だけでなく、放課後のお出かけの「見守り」でも  
出発・到着などを自動でお知らせ。  
(プッシュ通知機能)

画面を見れば安心はあります。学校や中絶を登録すればアラート発着地の画像・到着予定時刻もお知らせします。

任意で追加したまち・ひと・しごと創生会議

## 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.132

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**クラウンメロン×ドバイUAE**  
本格的な輸出へ

静岡県農業協同組合 クラウンメロン支所  
中 條 文 義 支 所 長

試行から一年。本格的な輸出の目的が立つ！

新たな市場の開拓に向け生産者らが現地入りし、嗜好調査等を実施。

UAEへの調査旅行に付いた記者発表の様子(2/16)

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.133

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**幻の白菜茶 “きら香”**  
「きら香」は、一番茶の時だけ「白い芽が出る珍しい品種」色に加えて甘みが特徴の希少品種。

首都圏(日本橋) (都内での販売促進)  
場所: 日本茶専門店「おちやろ コレド室町」  
期間: 平成30年3月まで(1年間)  
主催: 愛井茶業協同組合、愛井市

今日のテーマは「遠州お茶つくし」

産地(ふくみ)

手摘み体験  
日時: 平成30年4月28日  
場所: 愛井市  
定員: 50名  
主催: 愛井茶業協同組合

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.135

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**クラウンメロン×観光タクシー**

6が産する6月6日は、「プレミアムクラウンメロンの日」と題して...

毎月6日は**クラウンメロンの日!!**

クラウンメロンクリームパン  
クラウンメロンの「産地」もあるよ!

クラウンメロン観光タクシー出発式

9:30-10:00

株式会社 遠州三山 トラベルサービス

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.144

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**クラウンメロン**  
**ハイチュウ Premium**

公認連携モデル

メロン(静岡県クラウンメロン)

ハッピーなもちもち食感

昨年、爆発的な販売を記録したクラウンメロンのハイチュウが「ハイチュウPremium」として全国販売を再開!

今年はなんと...**3商品を展開**

- 1 ハイチュウPremium
- 2 富士山ハイチュウ
- 3 爽い果樹園ハイチュウアソート

空運、キヨコ、高速道路料金、道の駅のほか、全国のコンビニなどで全面展開

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.146

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**nicoe かき氷甲子園に「クラウンメロン」が会場!**

～47都道府県キッズと光る食材を撮せ!～

人気ベスト3

専ら産地産品をスイーツ・コミュニティnicoeでかき氷を堪能できる中、かき氷を通して静岡県の名産クラウンメロンなど、アイスクリームの種類「10種類以上」シェフが選んだ、全国47都道府県を代表する食材の美味しさを発表。期間中1週間限定販売するかき氷の模様を捉え、5箇条に塗り、金箔のかがき氷が味わえる。

一押しクラウンメロンは3RD Stage 人気ランキング「第1位」を獲得

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やらまいか通信 vol.150

輝く未来へ今、役員が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**夏の風物詩×スイーツ**  
新たな観光誘客数**20万人増加**

424,200  
2年目 (風鈴まつり)

317,500  
1年目 (風鈴まつり)

217,570  
通常期 (風鈴まつり未実施)

H28 H29 H30

願いを奏でる風鈴の音と、夏のスイーツで涼を満喫!  
遠州三山「法多山・可達茶・油山寺」では日本の伝統的な寺院文化を継承しながら、新たな夏の風物詩として「遠州三山 風鈴まつり」を開催しました。

遠州三山スイーツ

冠飾餅 法多山 日蓮の堂山 油山寺 少僧法山山・釈迦本願寺 餅屋

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 169**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**袋井のまちに4万球のイルミネーション「ふるい夜宵の光」が出現!**

ちびっこの家の光@ふるい夜宵の森

インスタスポットで賑わかへ誘引

世界の地元の名店を紹介する「FUKUROI'S SOUL FOOD KITCHENS vol.2」発表

「ここならては」のオリジナルカイドでしっかりナビゲーション

開催期間 1月18日(金)～3月3日(日)

楽しい夜を一緒に！～地域内消費の拡大 袋井市観光協会

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 173**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**#ふるい夜宵で発信しよう FUKUROI YORUYOI PROJECT**

袋井市観光協会 主催

映画の舞台は、もちろん「ふるい」(上映映画)「MAGIC TOWN-マジックタウン」

「明日にかける袋」メイキング発表

#ふるい夜宵 ショーマナイト「光の森の映画館」

フォジエニックスが止まらない

日時: 2019.3.2 (土) 18時上映  
 場所: ふくろい夜宵の森 特別会場 (袋井市)

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 179**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**茶産地×お土産づくり**

新たな土産産への活用にも期待

「茶畑ふるい」知名度向上 袋井茶の消費拡大

袋井産茶葉100%使用(一掛茶のみ)

煎茶、深蒸煎茶、被せ茶、ほうじ茶、和紅茶

「袋井茶葉」を手に取り味わえるティーバック加工

**挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦**

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 148**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**杏林堂薬局 × TaskAruネットワーク**

シニアの「就業」と「健康増進」の両立を高める連携

シニアが元気で、経済活動を担う「健康長寿社会」を目指して～美しく・健康で・豊かな人生を送るためのお手伝い～

2018.10.15(日) 10:00～12:00

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 154**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 2018年版 第7戦 「東海道どまんち 袋井ラウンド」開催**

「自転車を活かしたまちづくり」前進 全国大会誘致

26歳 対100人出場

2018.9.24(日) 10:00～12:00

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 156**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**「みんなのよりみち保健室」**

食推進 店舗 保健センター

健康づくりのコラボレーション

2018.10.15(日) 10:00～12:00

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 157**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**第8回健康都市連合国際大会で受賞**

WHO表彰とAFHC表彰の同時5部門受賞の快挙

2018.10.17-19@マレーシア

「日本一健康文化都市」に輝いた袋井市

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 163**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**新総合体育館の愛称 「さわやかアリーナ袋井」に決定!**

袋井市総合体育館 さわやかアリーナ袋井

2018.11.21(日) 10:00～12:00

輝く「ふるい」まち・ひと・しごと創生会議  
**地方創生 やらまいか通信 vol. 167**

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

**浅羽東コミュニティセンター LINE@ はじめました。**

LINE@ × 地域コミュニティ

～地域とつながる新たな仕組みづくりへの挑戦～

30～50代の 地域住民